

平成31年度（令和元年度）ふくしま学力調査結果

令和元年9月30日
福島県教育委員会

◇ 調査の概要



1 調査の目的

児童生徒一人一人の学力の伸びや学習等に対する意識、生活の状況等を把握する調査を実施し、教育及び教育施策等の成果と課題を検証するとともに、その改善を図るための方策を構築し、一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する。

2 実施期日

平成31年4月11日（木）

3 参加学校・参加人数

全公立小・中学校（義務教育学校を含む。以下同じ。）が参加

- (1) 小学校 436校（県立特別支援学校小学部を含む。）
- (2) 中学校 225校（県立特別支援学校中学部を含む。）
- (3) 児童生徒数

小学4年	小学5年	小学6年	中学1年	中学2年
13,947人	14,430人	14,756人	14,976人	14,718人

4 調査項目

- (1) 小学校第4～6学年：国語、算数、質問紙調査
- (2) 中学校第1、2学年：国語、数学、質問紙調査

5 福島県学力調査との違い

平成29年度まで実施した「福島県学力調査」は、調査年度の児童生徒の学力の現状を把握することには適していましたが、実施年度が異なる調査の結果を比較しにくいという課題がありました。今年度から実施した「ふくしま学力調査」では、問題の難易度を考慮に入れて学力を測定する、つまり、「どれくらい難しい問題に正答できたか」という視点を加え、小学校4年生から中学校2年生まで実施することで、児童生徒の学力が伸びていく様子を、より明確に示すことができるようになっています。

6 埼玉県教育委員会との連携協力協定

本調査は、埼玉県教育委員会と締結した「埼玉県教育委員会と福島県教育委員会との義務教育の充実に関する連携協力協定」に基づき、調査問題の相互利用等を行って実施しています。埼玉県では、平成27年度から埼玉県学力・学習状況調査として実施しています。

◇ 教科に関する調査の結果

1 福島県の平均正答率 (%)

	小学4年	小学5年	小学6年	中学1年	中学2年
国語	58.0	49.7	61.7	57.8	54.9
算数・数学	67.5	61.1	59.9	58.3	52.3

2 福島県のカテゴリー別正答率 (%)

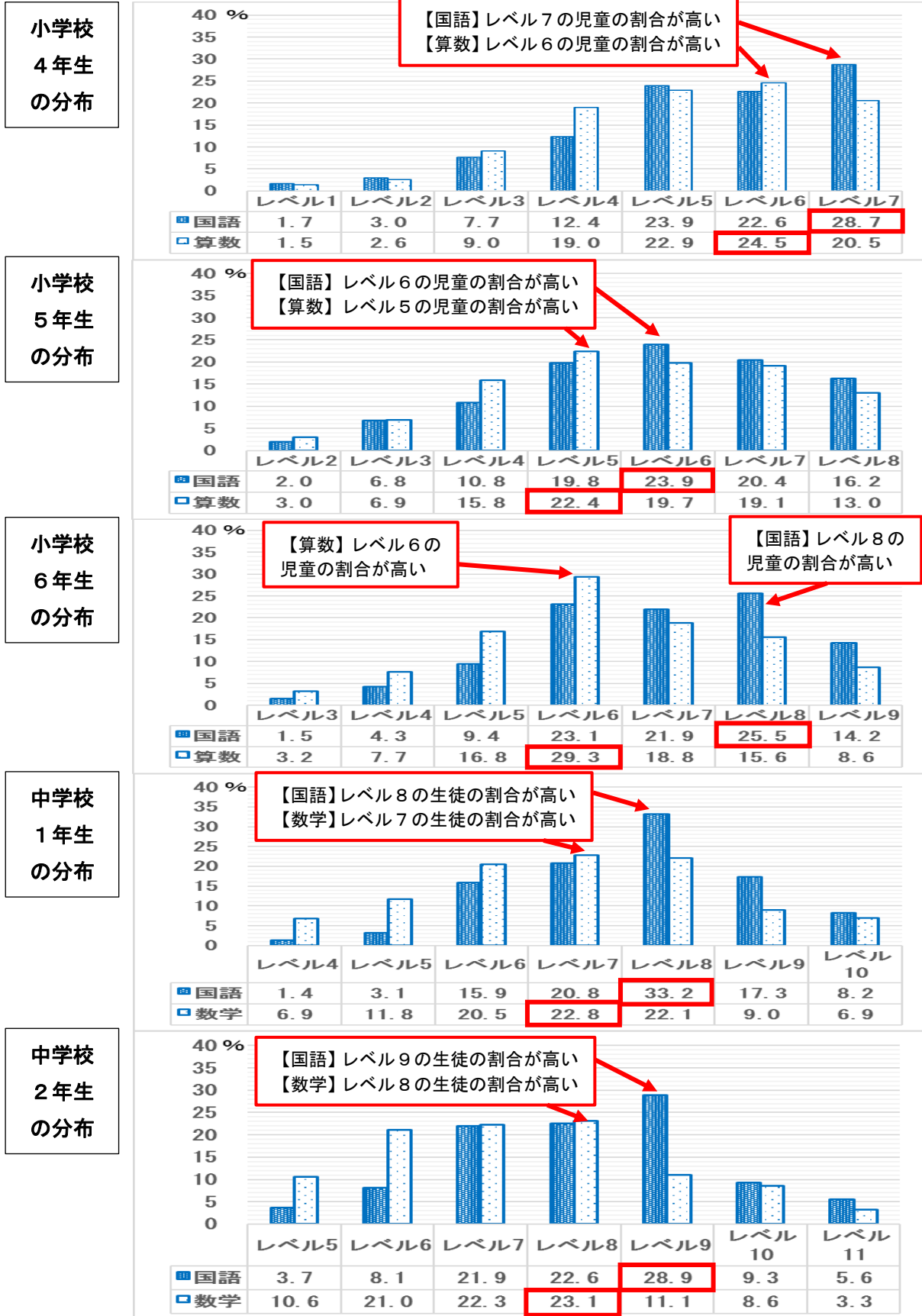
【国語】

	教科の領域等別 平均正答率			評価の観点別 平均正答率				問題形式別 平均正答率		
	話すこと・聞くこと・書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式
小学4年	40.0	63.5	62.0	37.9	41.5	63.5	62.0	54.1	63.7	21.2
小学5年	38.1	45.3	54.7	55.7	20.5	45.3	54.7	42.5	56.9	11.8
小学6年	52.1	59.7	65.0	58.5	45.7	59.7	65.0	60.8	65.3	34.9
中学1年	40.8	54.5	63.5	48.1	33.5	54.5	63.5	60.6	52.8	45.6
中学2年	54.9	51.0	56.9	60.9	48.9	51.0	56.9	54.9	56.3	42.0

【算数・数学】

	教科の領域等別 平均正答率				評価の観点別 平均正答率			問題形式別 平均正答率		
	数と計算	量と測定	図形	数量関係	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式
小学4年	70.2	69.9	62.8	65.8	35.2	64.0	75.7	67.9	68.3	49.6
小学5年	64.1	55.5	61.7	61.3	48.4	58.0	65.8	63.9	57.4	72.2
小学6年	63.6	53.5	58.6	62.2	38.3	62.9	59.3	57.6	63.0	44.0
中学1年	54.1	52.5	57.1	71.1	41.7	63.5	57.3	58.0	59.4	43.8
中学2年	57.4	45.4	54.1	53.4	47.8	56.4	47.5	51.1	55.9	27.2

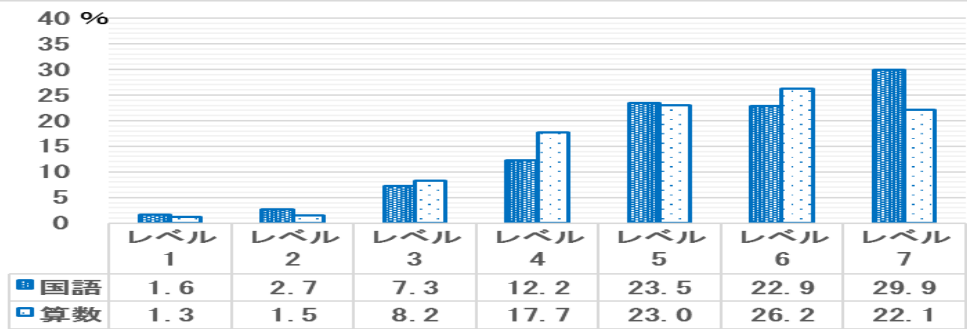
3 福島県の「学力のレベル」の分布 (%)



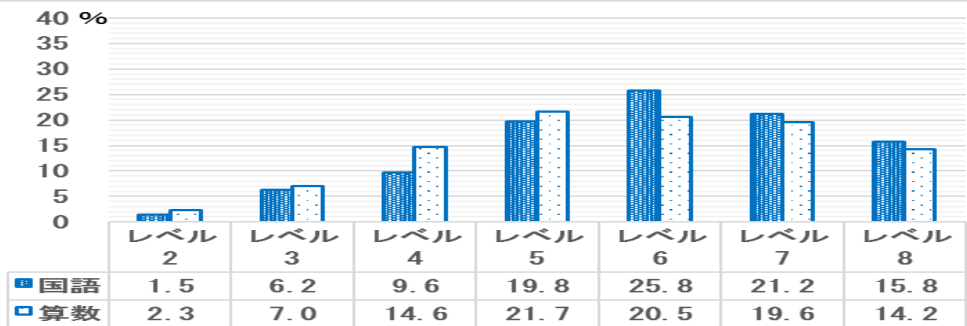
※ 各学力レベルに属する児童生徒の分布割合は四捨五入していますので、合計が100%にならない場合があります。

4 県北教育事務所域内の「学力のレベル」の分布 (%)

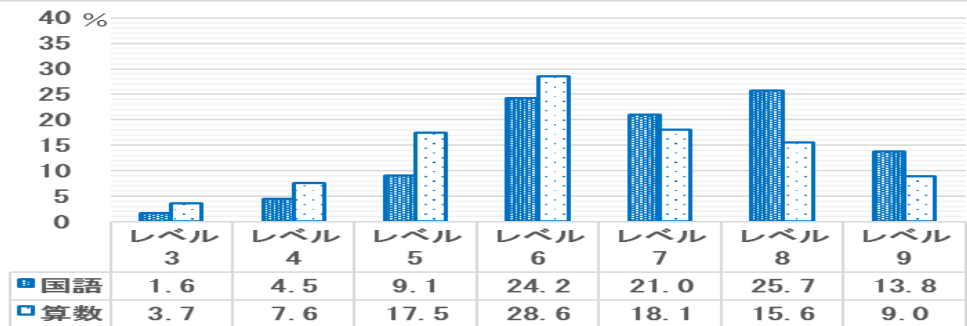
小学校
4年生
の分布



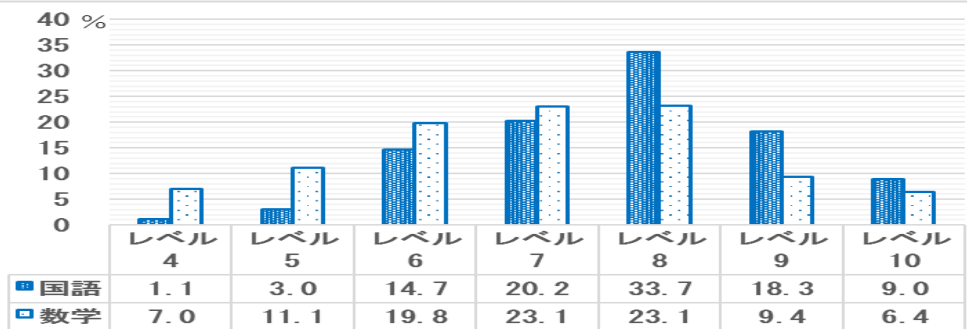
小学校
5年生
の分布



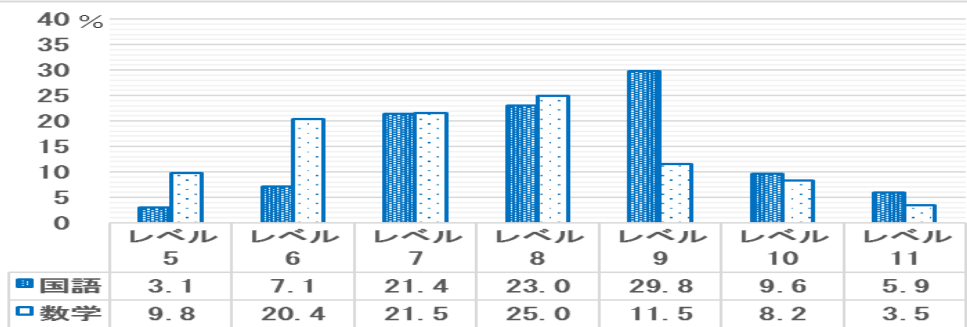
小学校
6年生
の分布



中学校
1年生
の分布

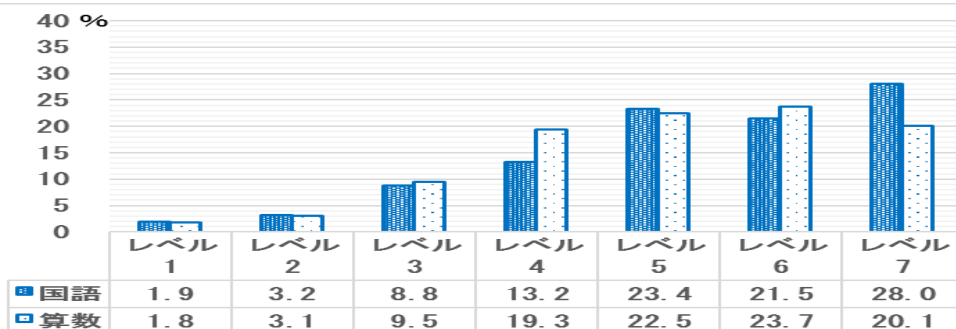


中学校
2年生
の分布

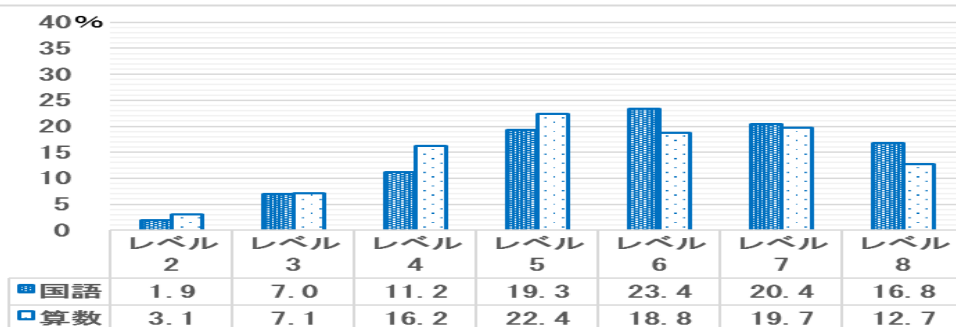


5 県中教育事務所域内の「学力のレベル」の分布 (%)

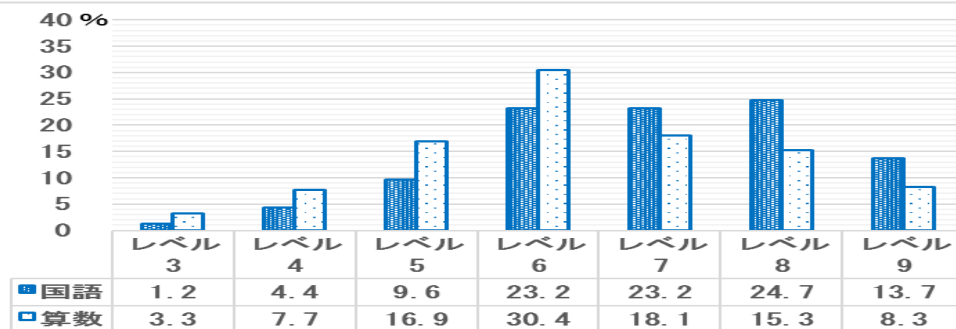
小学校
4年生
の分布



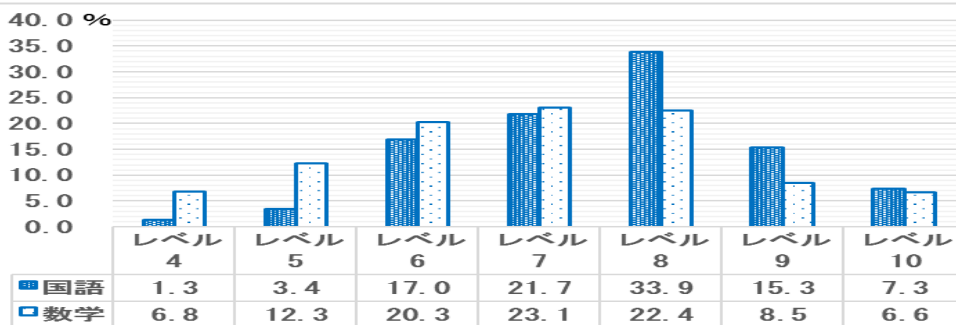
小学校
5年生
の分布



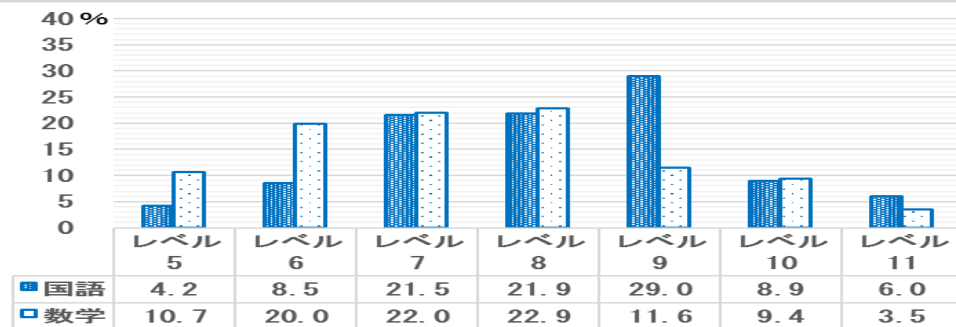
小学校
6年生
の分布



中学校
1年生
の分布

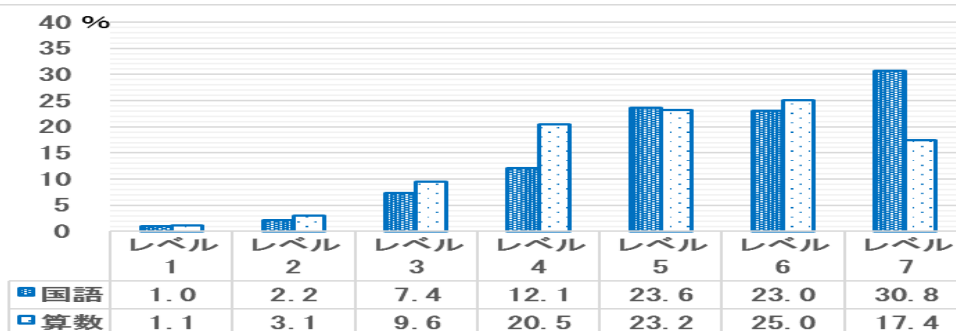


中学校
2年生
の分布

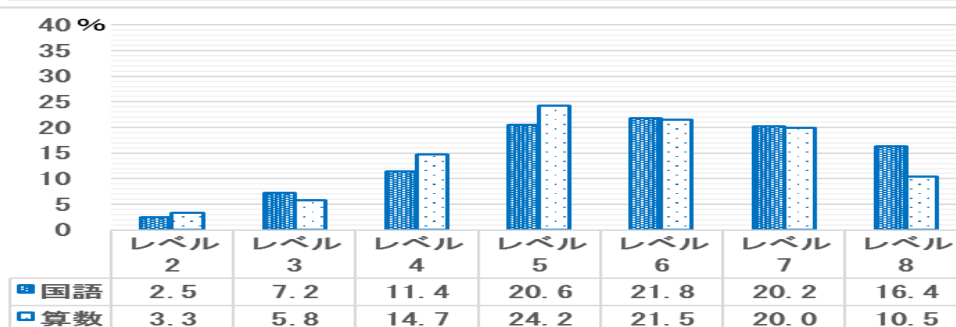


6 県南教育事務所域内の「学力のレベル」の分布 (%)

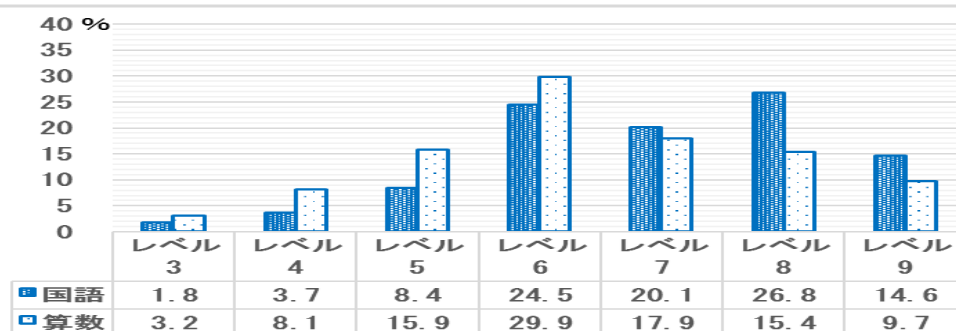
小学校
4年生
の分布



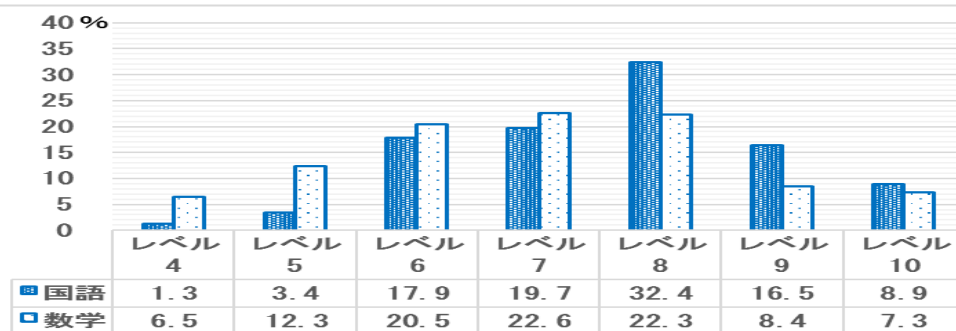
小学校
5年生
の分布



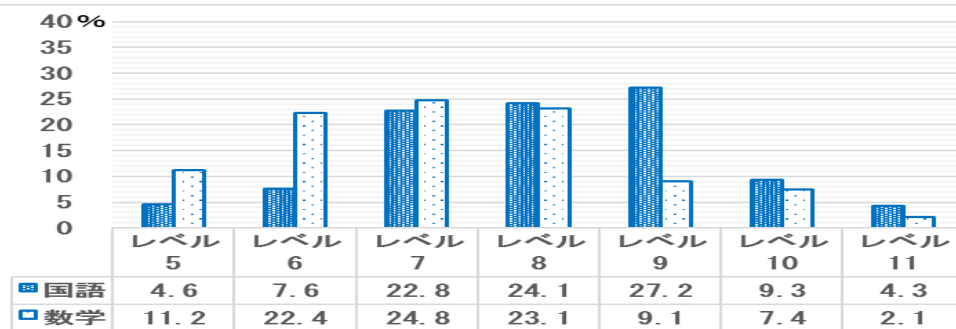
小学校
6年生
の分布



中学校
1年生
の分布

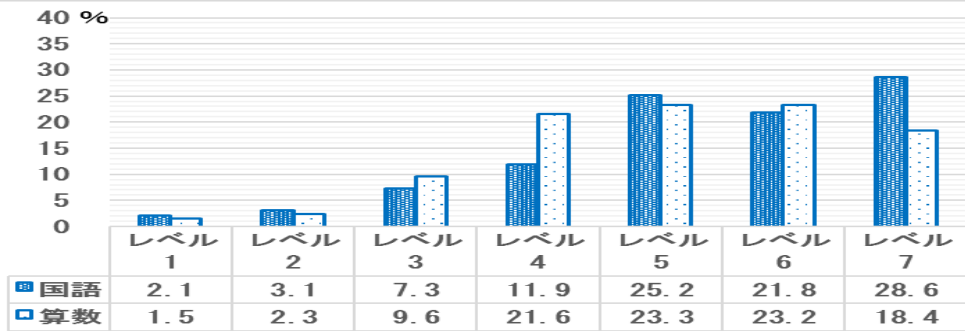


中学校
2年生
の分布

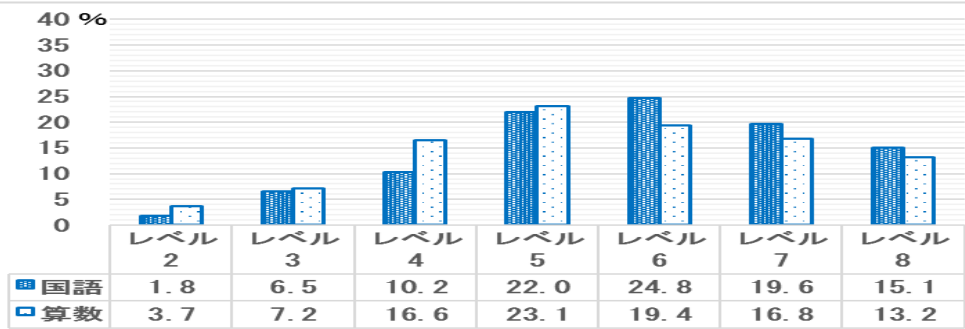


7 会津教育事務所域内の「学力のレベル」の分布 (%)

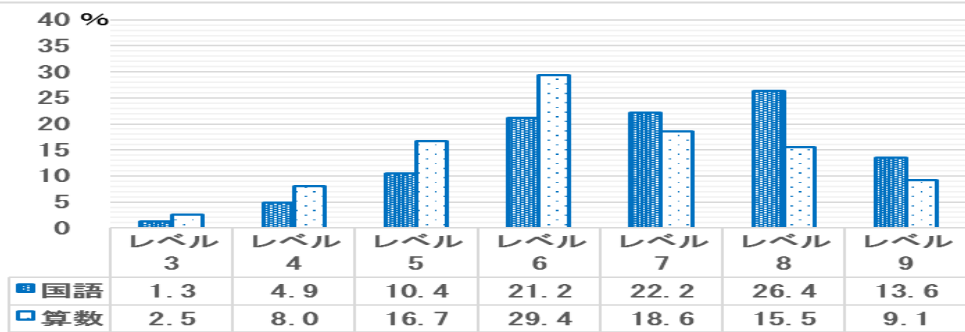
小学校
4年生
の分布



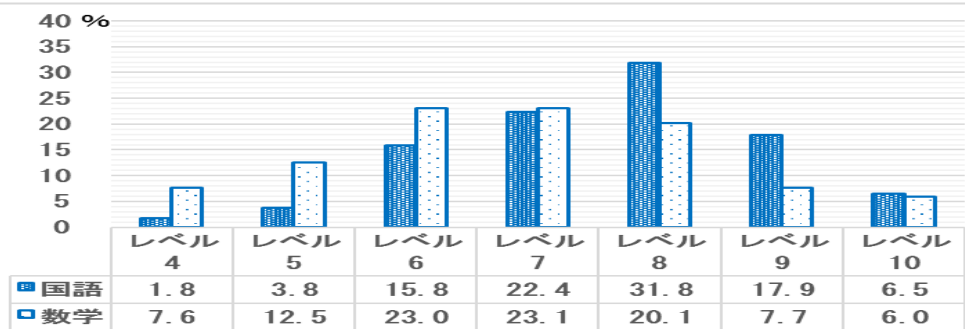
小学校
5年生
の分布



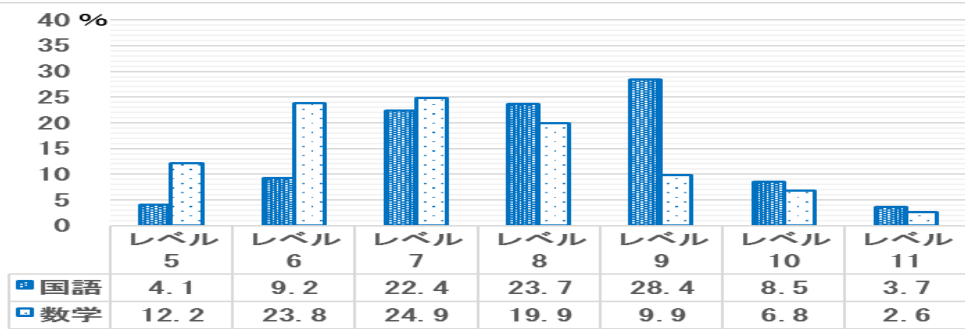
小学校
6年生
の分布



中学校
1年生
の分布

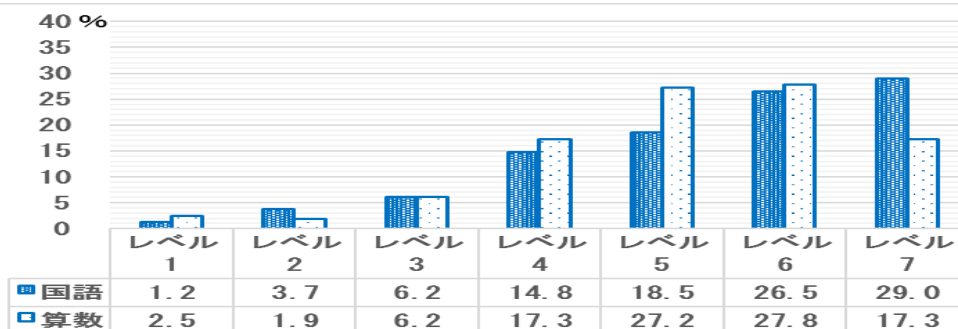


中学校
2年生
の分布

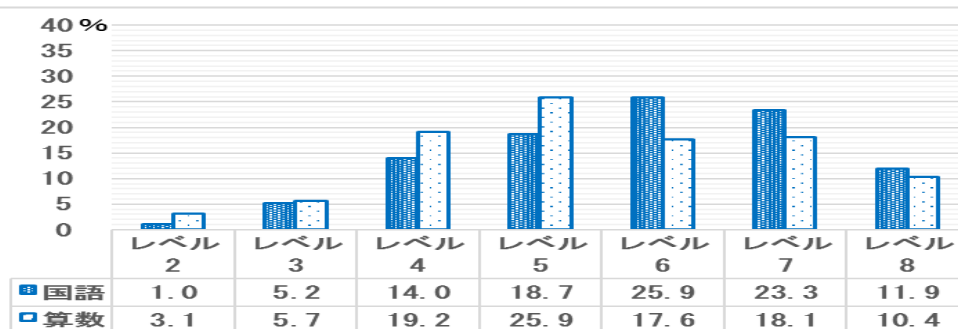


8 南会津教育事務所域内の「学力のレベル」の分布 (%)

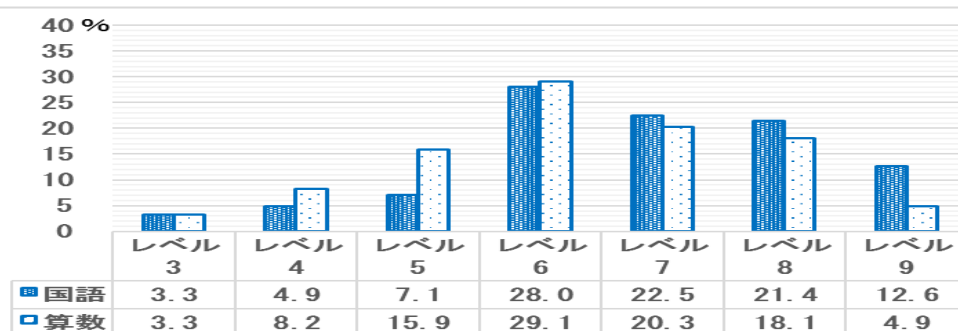
小学校
4年生
の分布



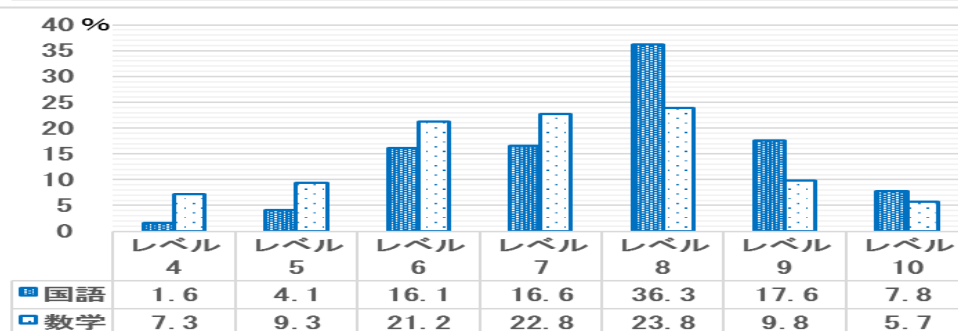
小学校
5年生
の分布



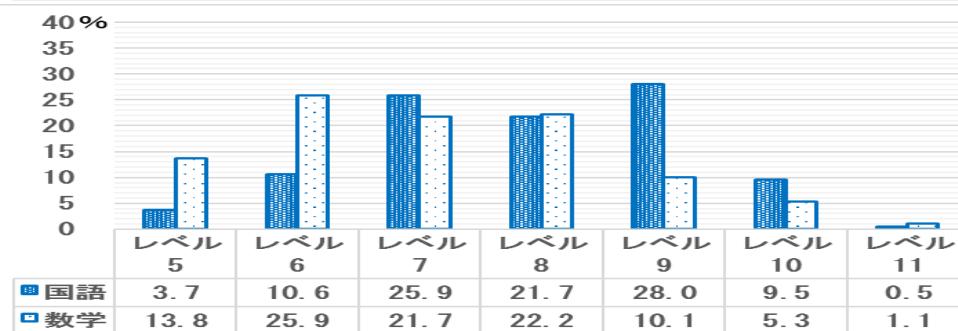
小学校
6年生
の分布



中学校
1年生
の分布

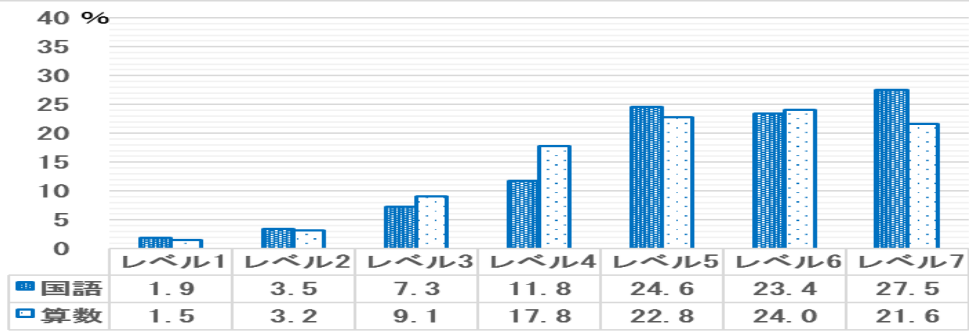


中学校
2年生
の分布

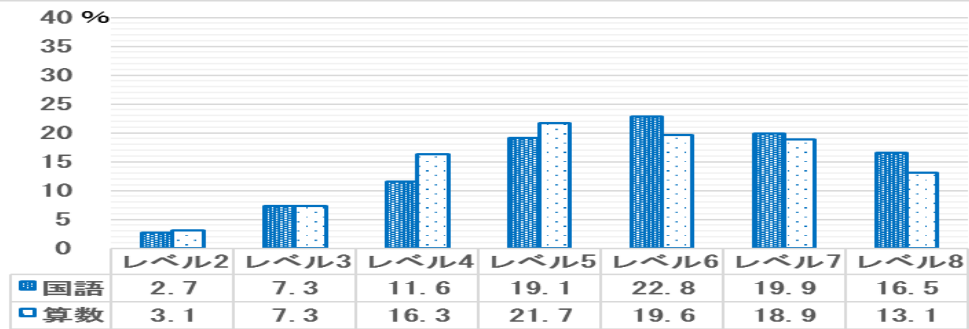


9 相双・いわき教育事務所域内の「学力のレベル」の分布 (%)

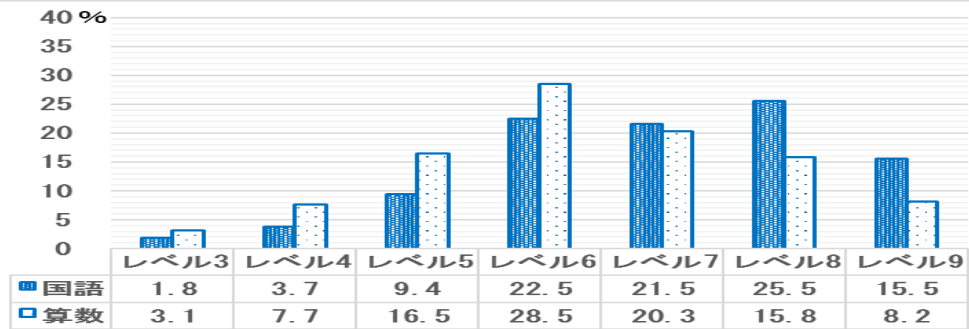
小学校
4年生
の分布



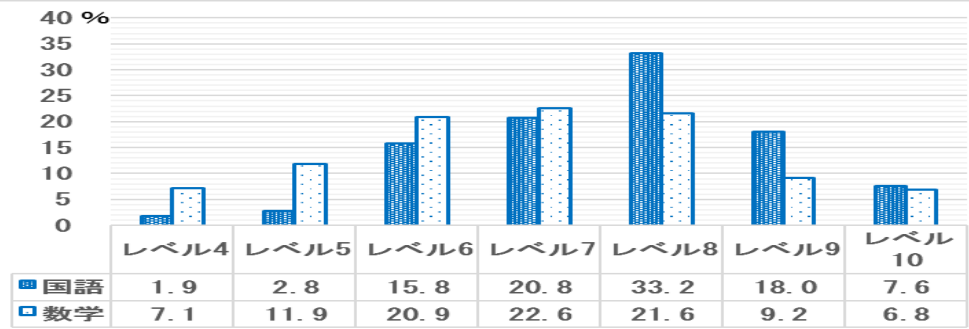
小学校
5年生
の分布



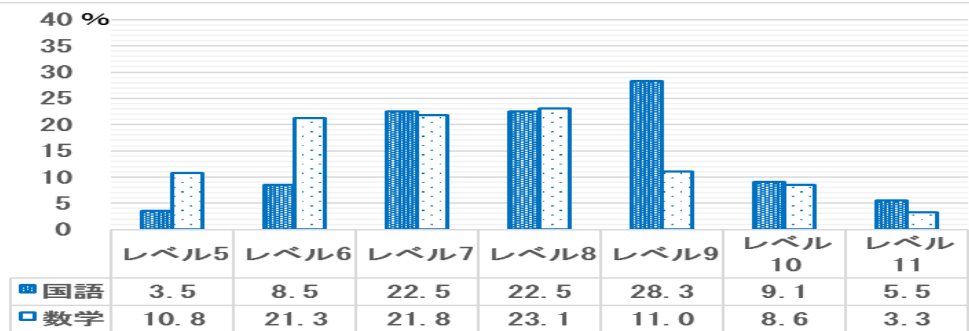
小学校
6年生
の分布



中学校
1年生
の分布



中学校
2年生
の分布



◇ ふくしま学力調査から見える傾向

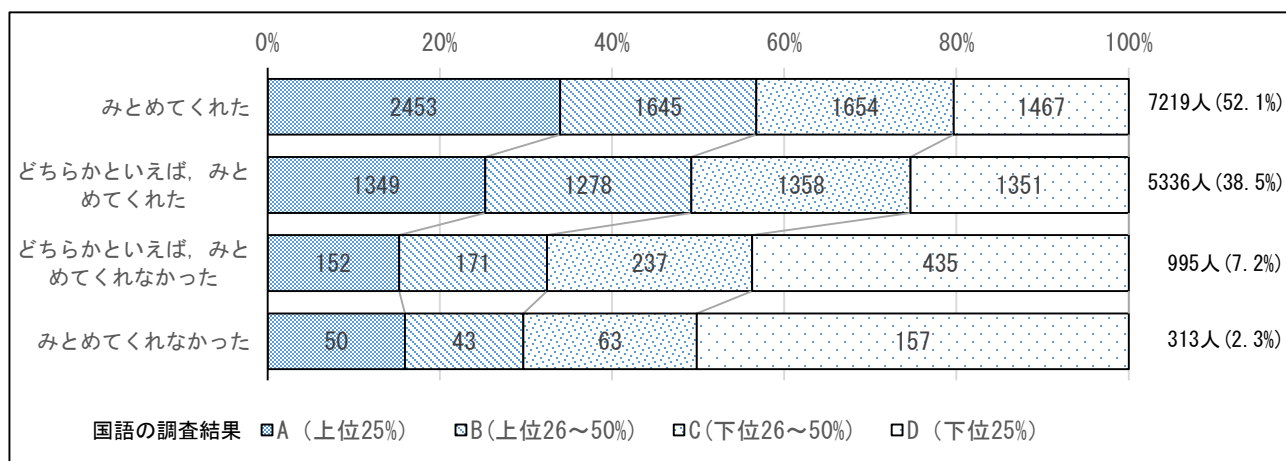
質問紙調査の中から、回答と学力階層の関係が明確なものを5つ抽出しました。（質問紙調査の問題数は学年により異なり、最多は小学4年生の78問です。）

※ 質問紙調査の質問項目と調査結果は、福島県教育庁義務教育課HPに掲載しています。 <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70056a/>

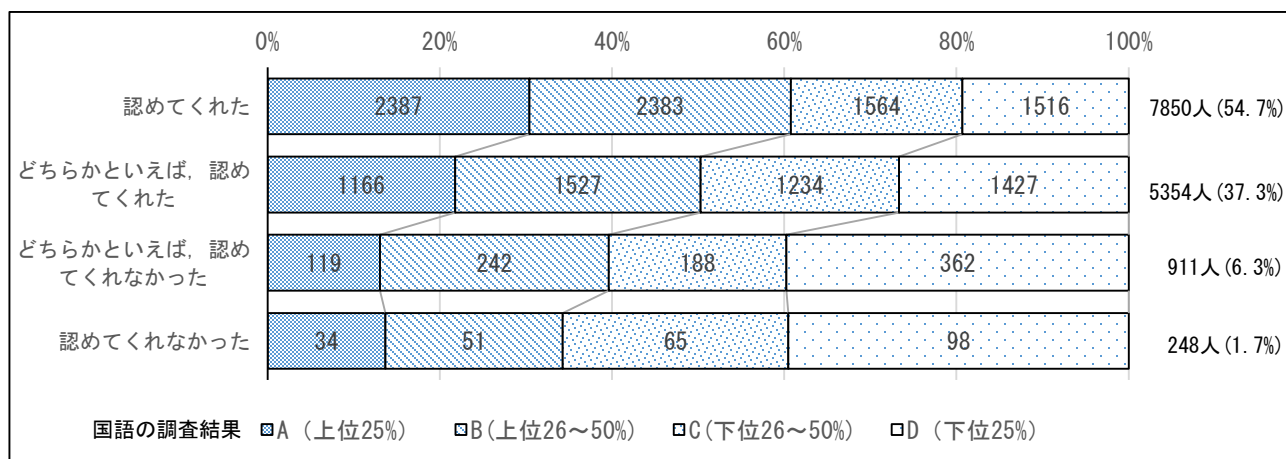
1 (1) 「教員との関係」と「国語」の傾向

質問紙調査『学校の先生たちは自分のよいところを認めてくれましたか』と国語の調査結果から見える傾向

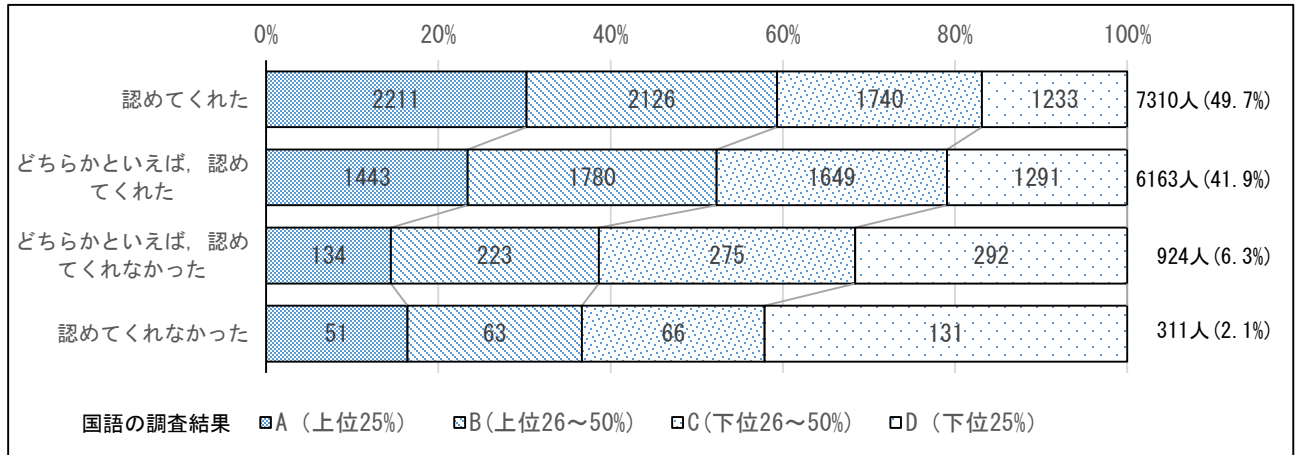
【小学校4年生】



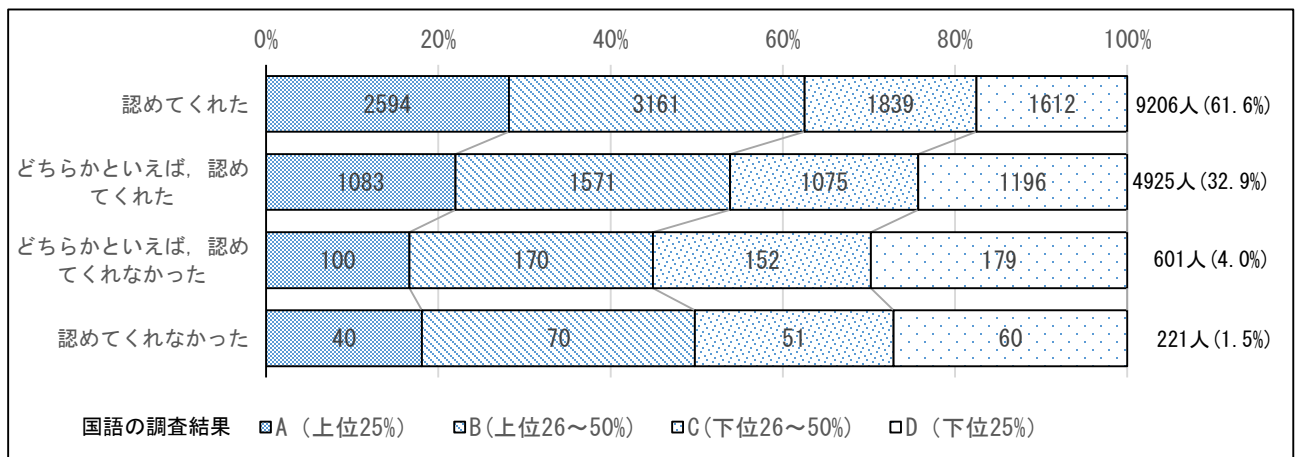
【小学校5年生】



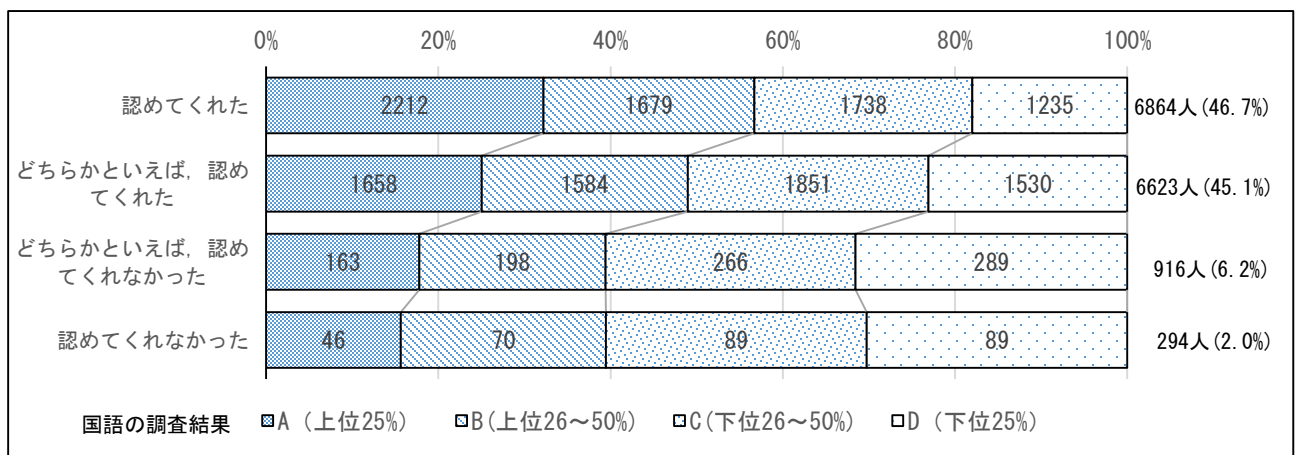
【小学校6年生】



【中学校1年生】



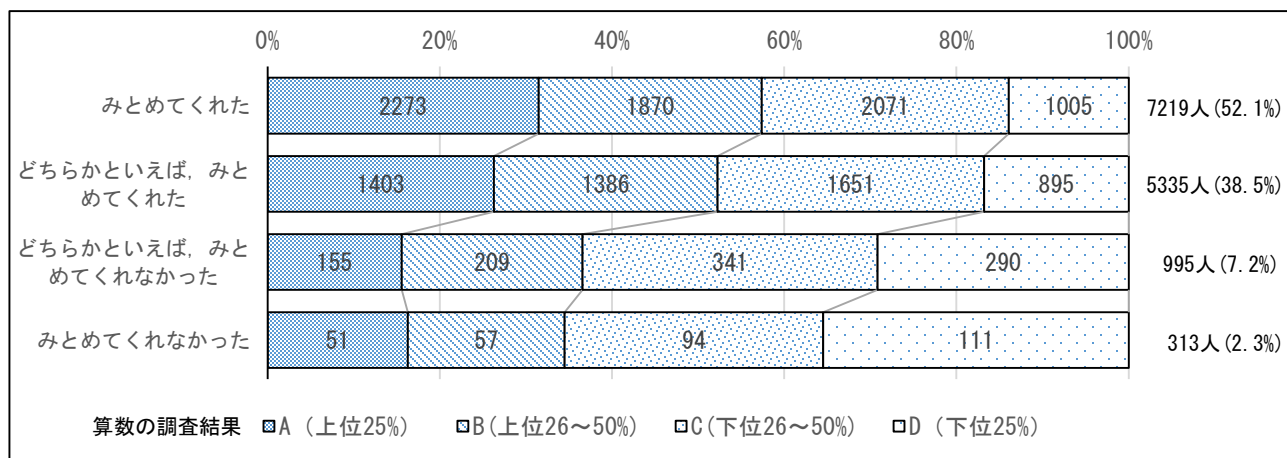
【中学校2年生】



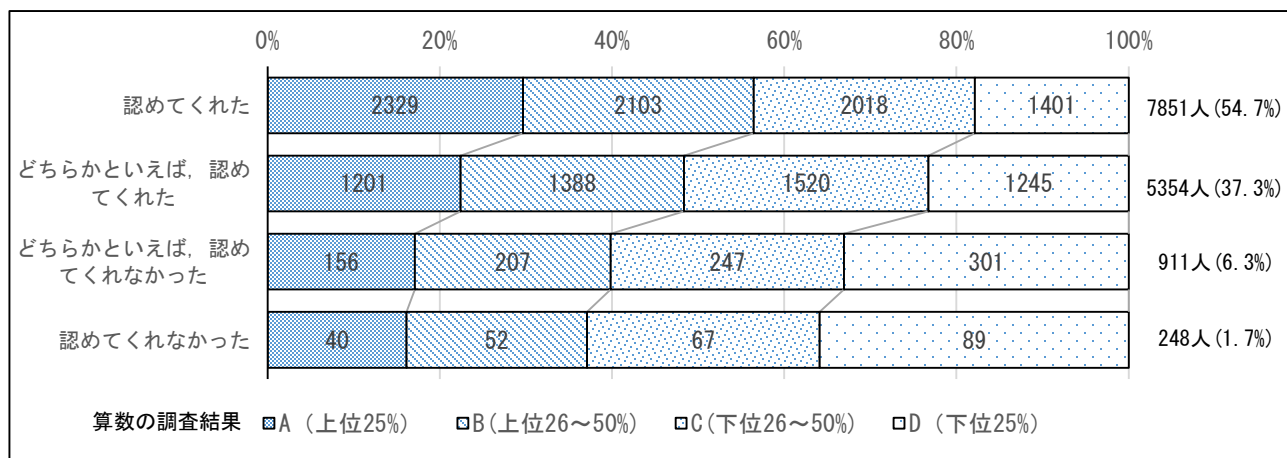
1 (2) 「教員との関係」と「算数・数学」の傾向

質問紙調査『学校の先生たちは自分のよいところを認めてくれましたか』
と算数・数学の調査結果から見える傾向

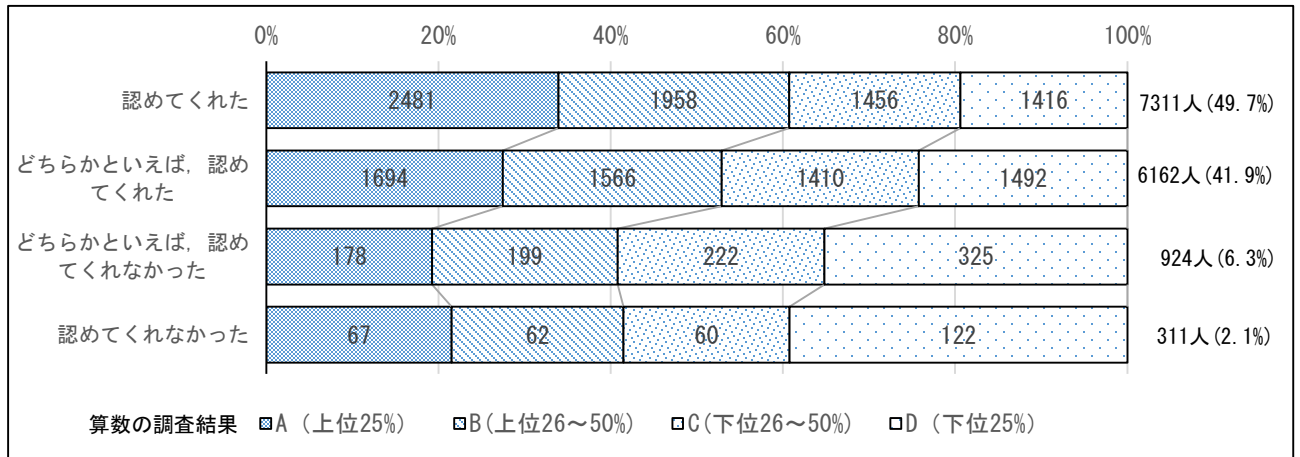
【小学校4年生】



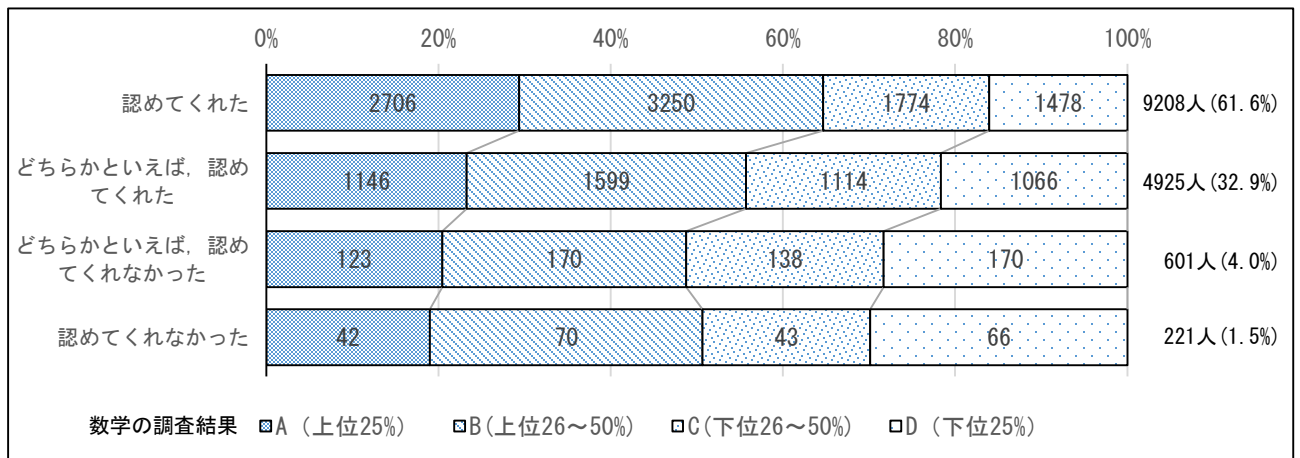
【小学校5年生】



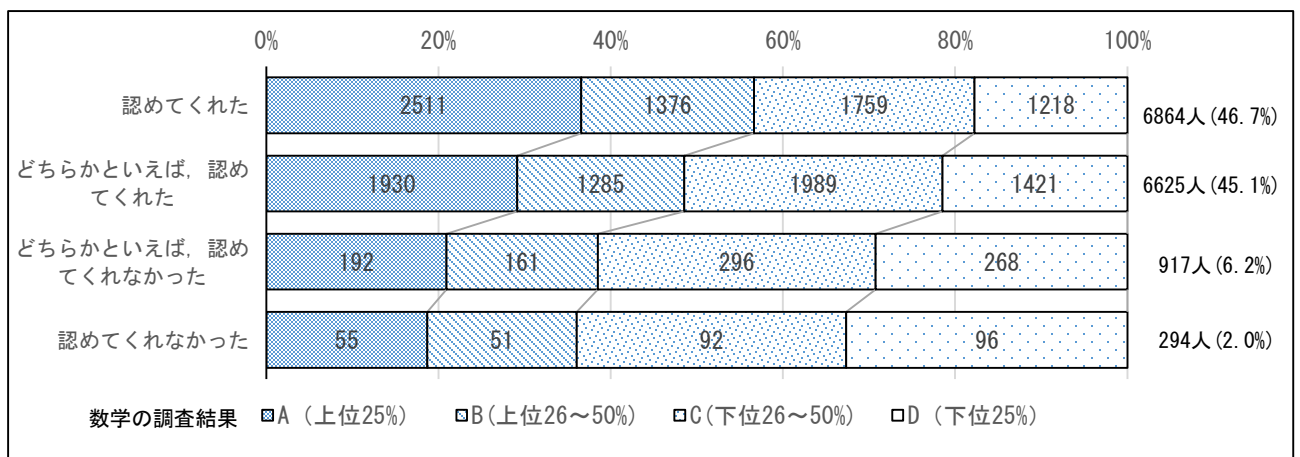
【小学校6年生】



【中学校1年生】



【中学校2年生】

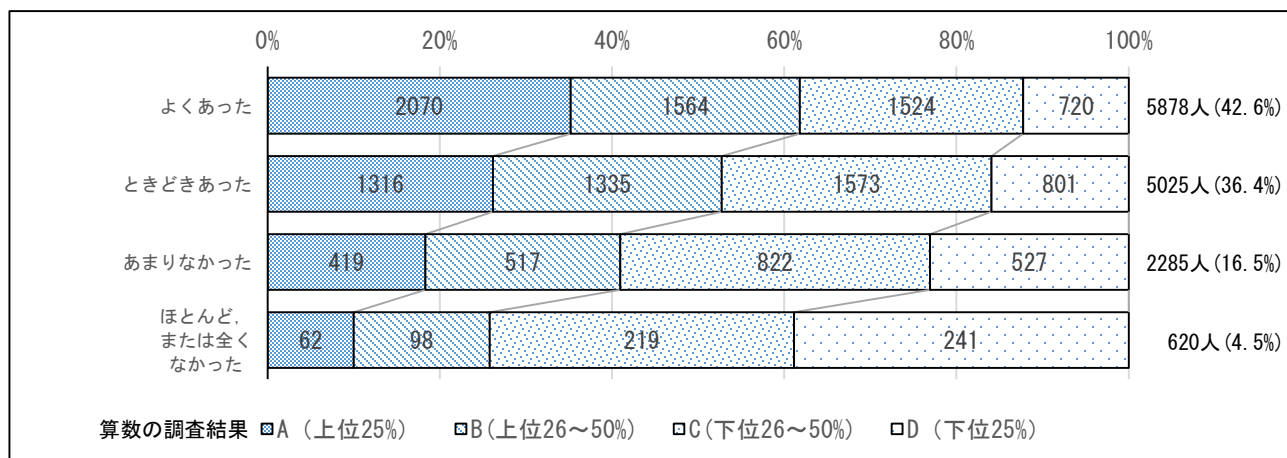


2 「授業」と「国語」、「算数・数学」の傾向

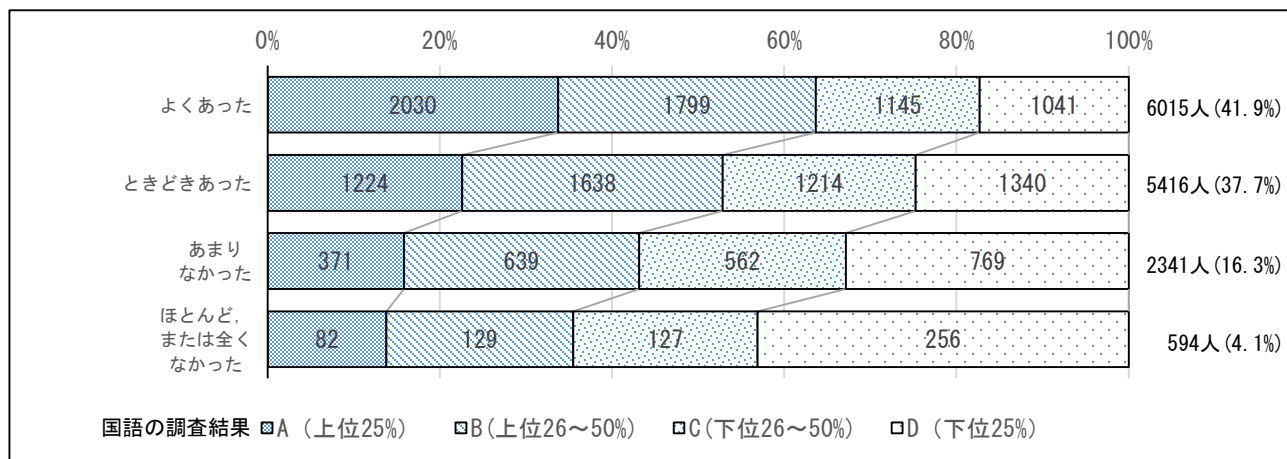
質問紙調査『授業で、自分の考えを理由をつけて発表したり、書いたりできたこと』と国語、算数・数学の調査結果から見える傾向

※ 小学5、中学1年生は国語の授業について、小学4、6、中学2年生は算数・数学の授業についての質問

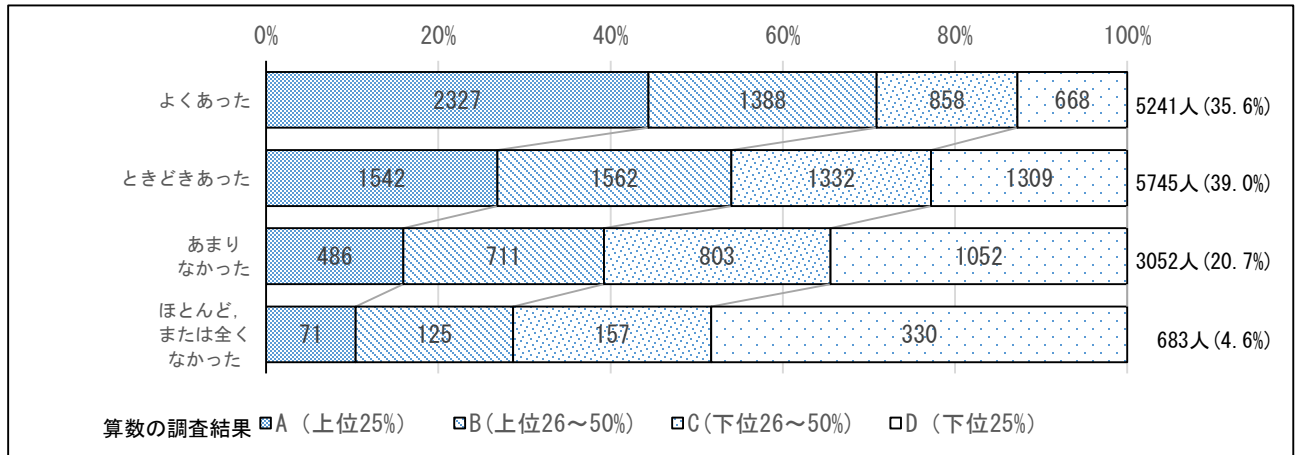
【小学校4年生 算数】



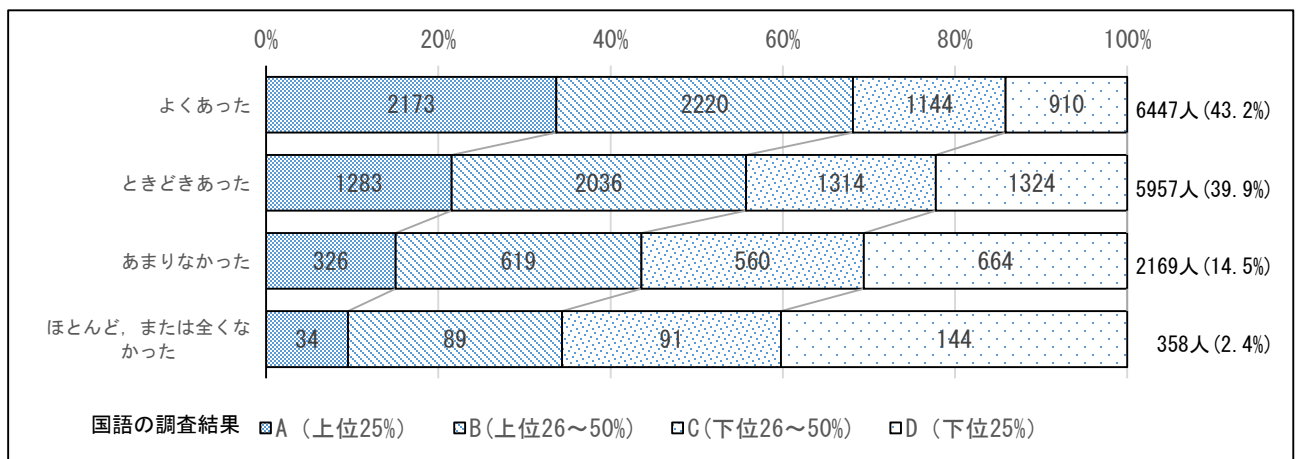
【小学校5年生 国語】



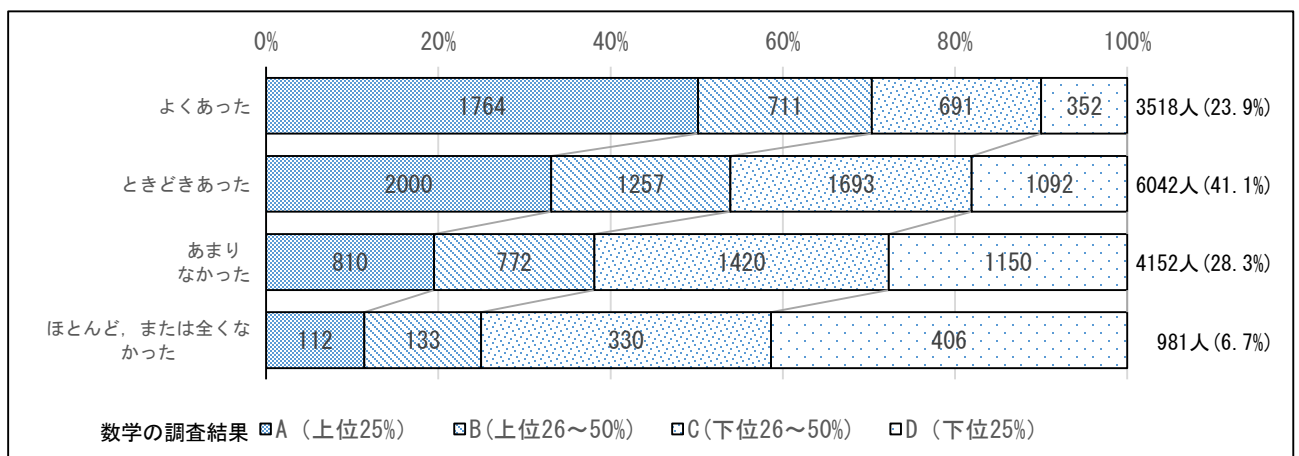
【小学校6年生 算数】



【中学校1年生 国語】



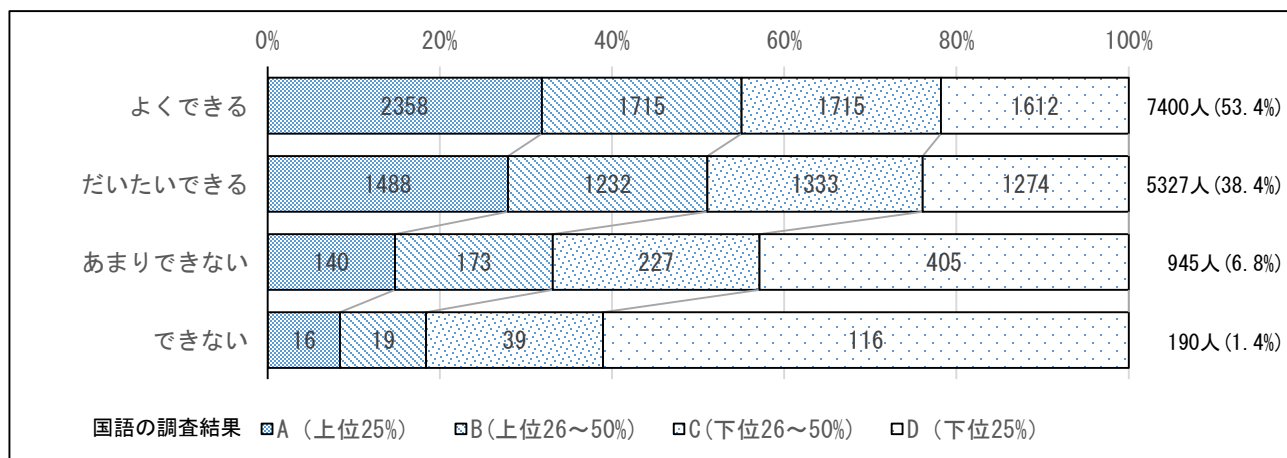
【中学校2年生 数学】



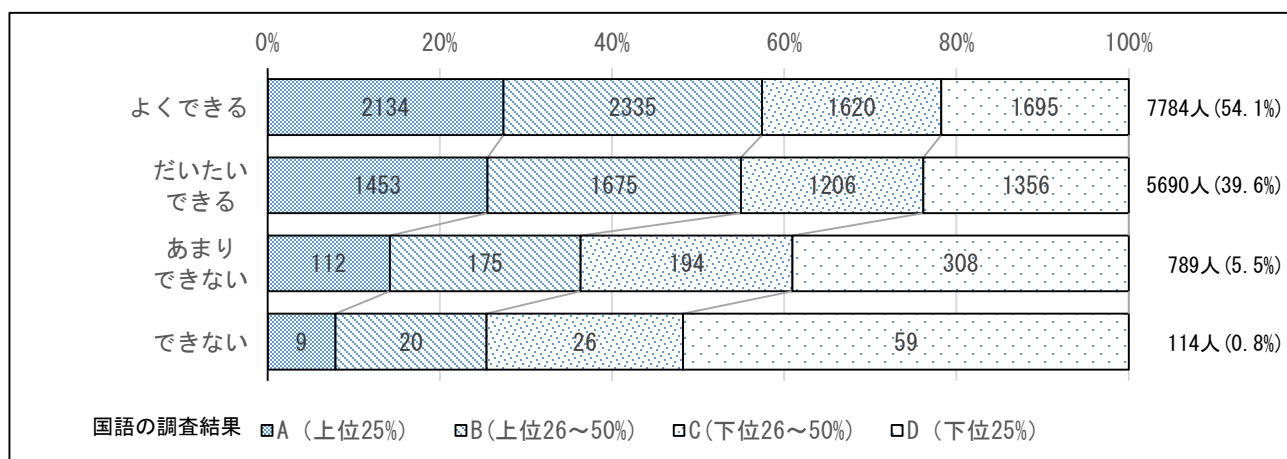
3 (1) 「規律ある態度」と「国語」の傾向

質問紙調査『授業や活動の始まる時刻を守ることができていますか』と国語の調査結果から見える傾向

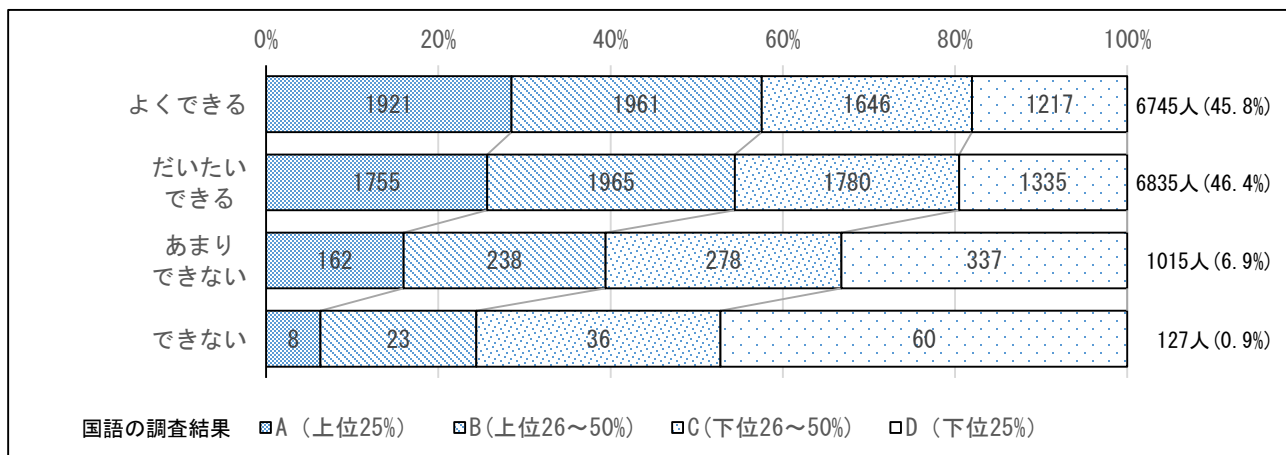
【小学校4年生】



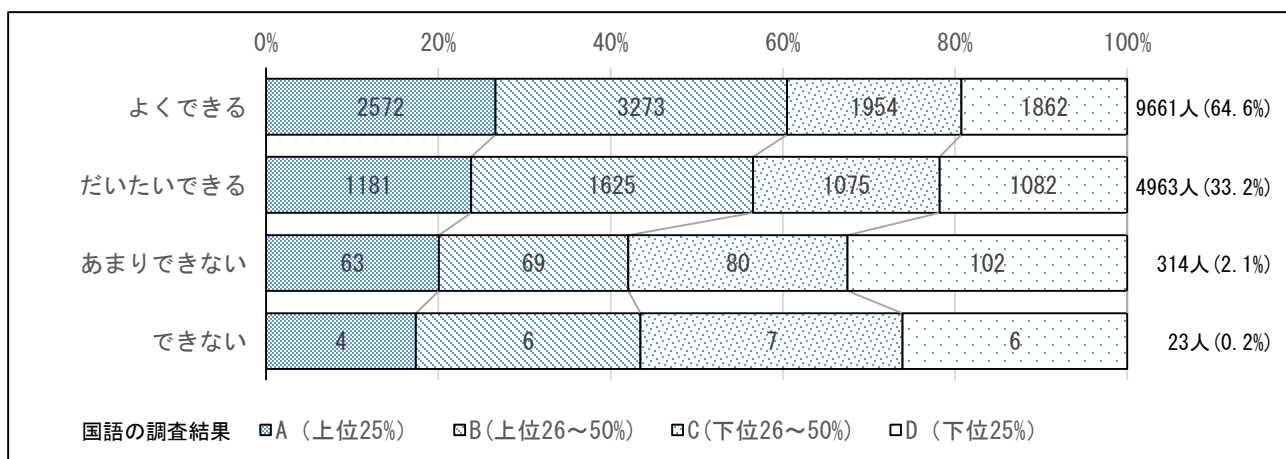
【小学校5年生】



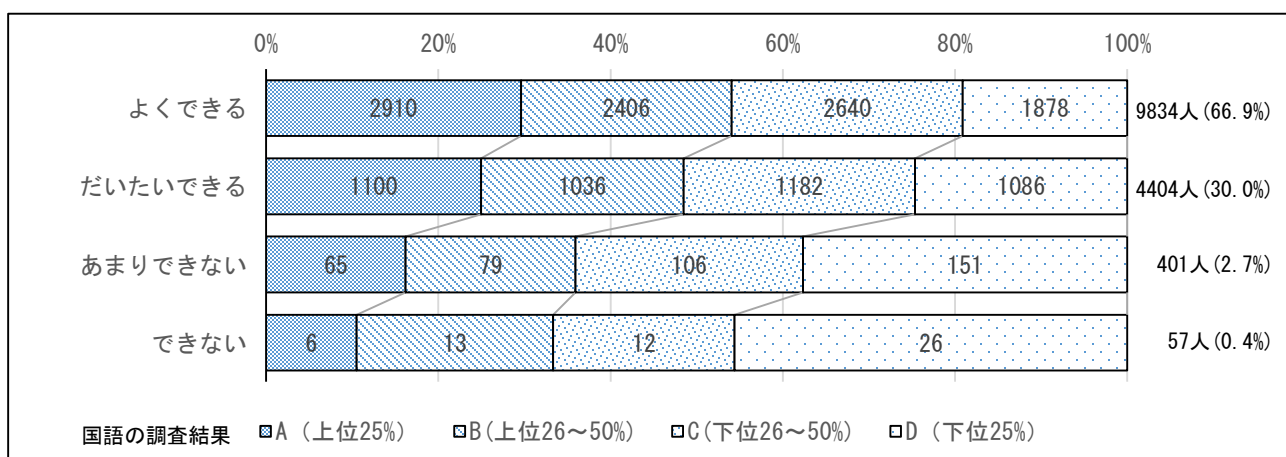
【小学校6年生】



【中学校1年生】



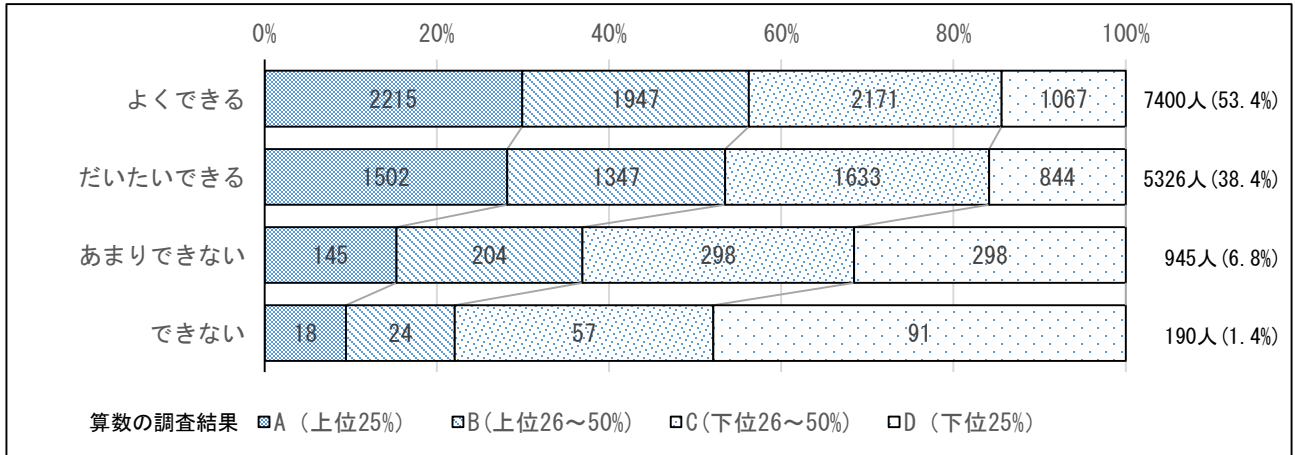
【中学校2年生】



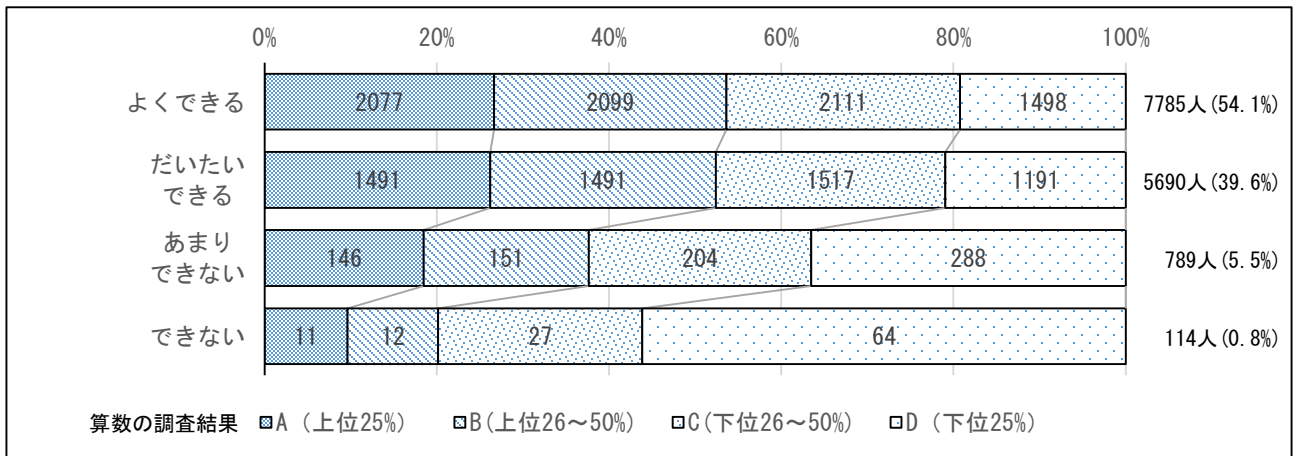
3 (2) 「規律ある態度」と「算数・数学」の傾向

質問紙調査『授業や活動の始まる時刻を守ることができていますか』と算数・数学の調査結果から見える傾向

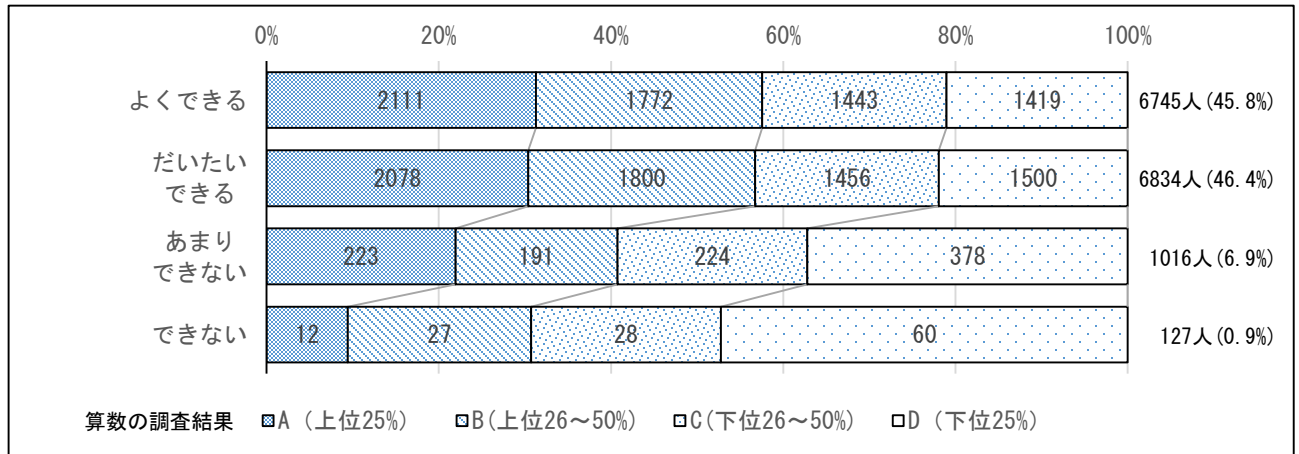
【小学校4年生】



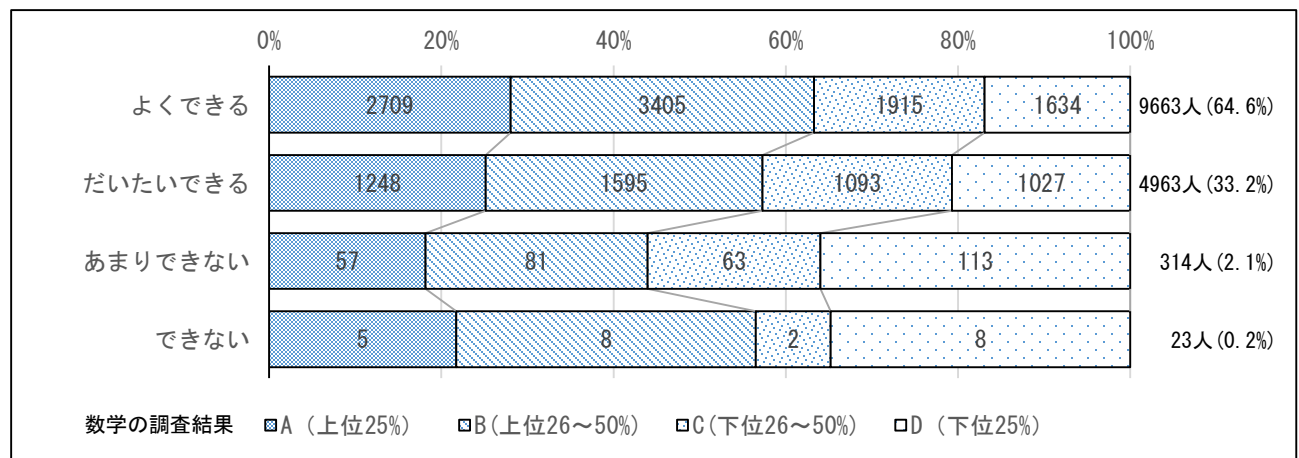
【小学校5年生】



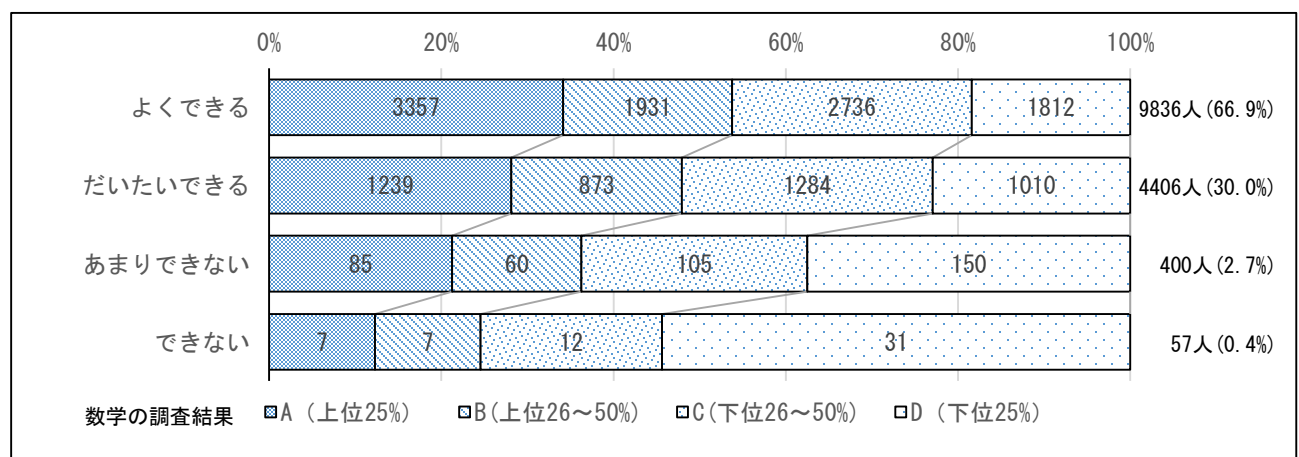
【小学校6年生】



【中学校1年生】



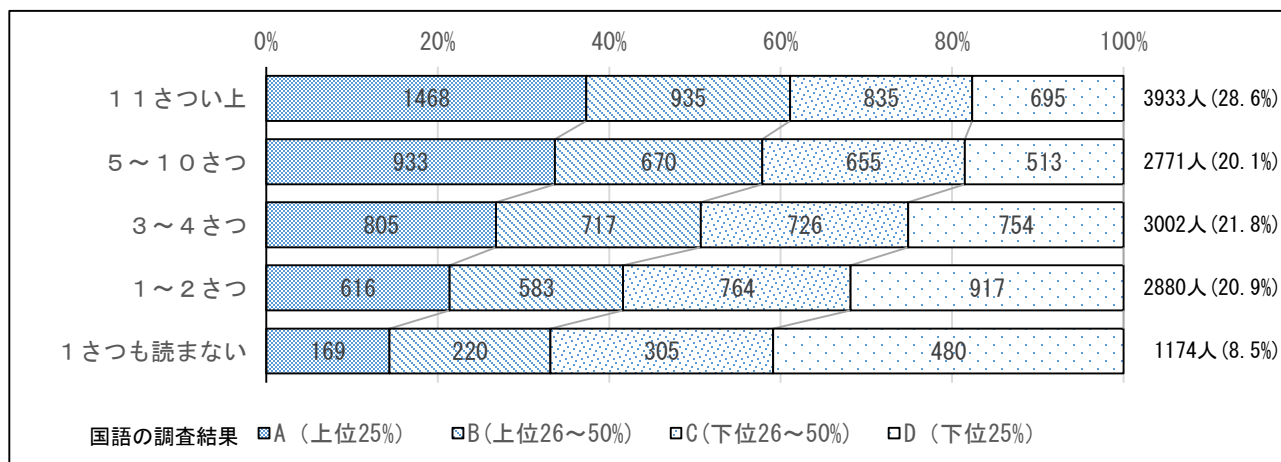
【中学校2年生】



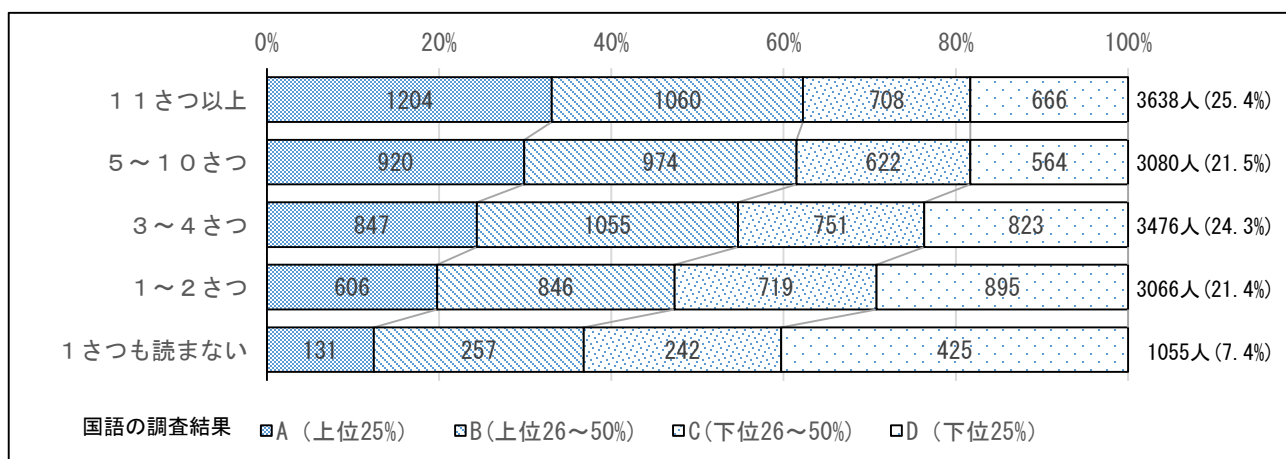
4 (1) 「読書」と「国語」の傾向

質問紙調査『1か月に、何冊くらいの本を読みますか（教科書や参考書、まん画や雑誌は除きます）』と国語の調査結果から見える傾向

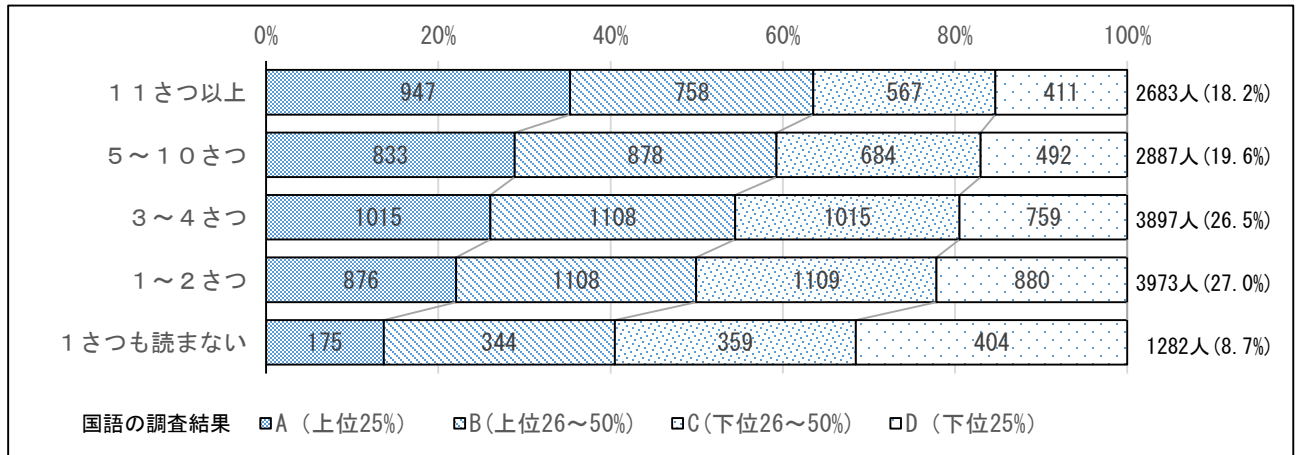
【小学校4年生】



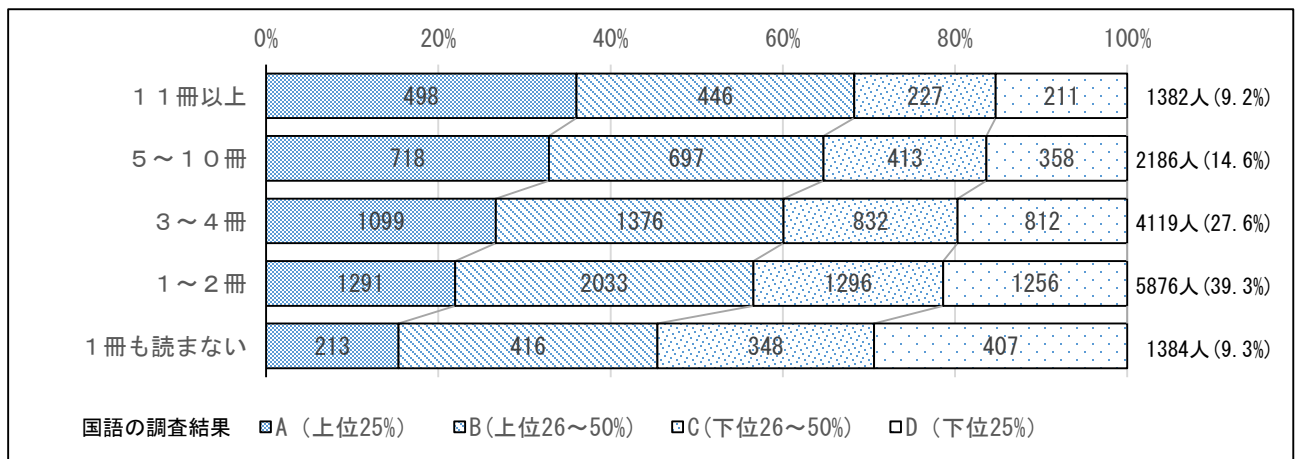
【小学校5年生】



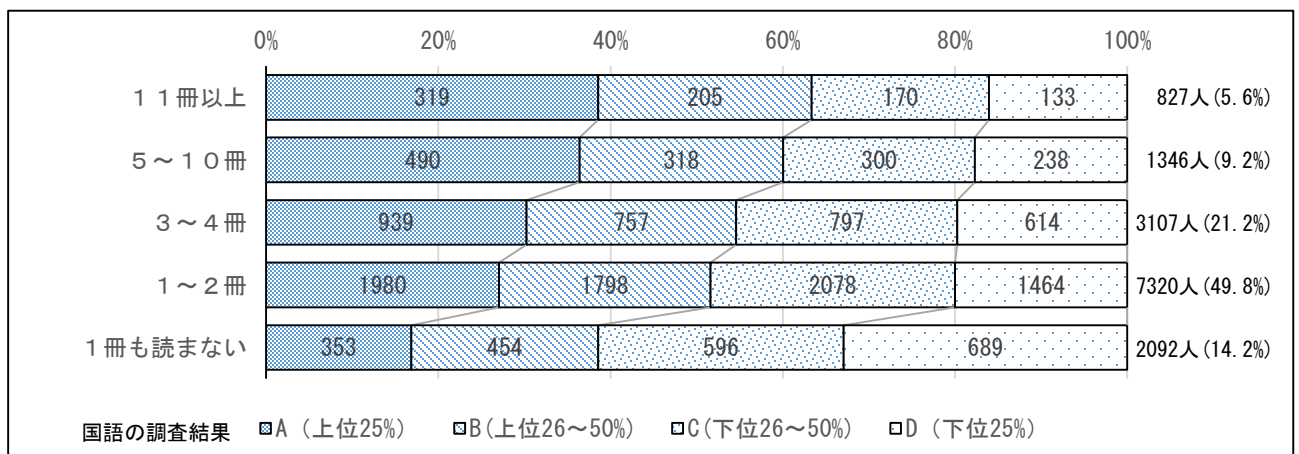
【小学校6年生】



【中学校1年生】



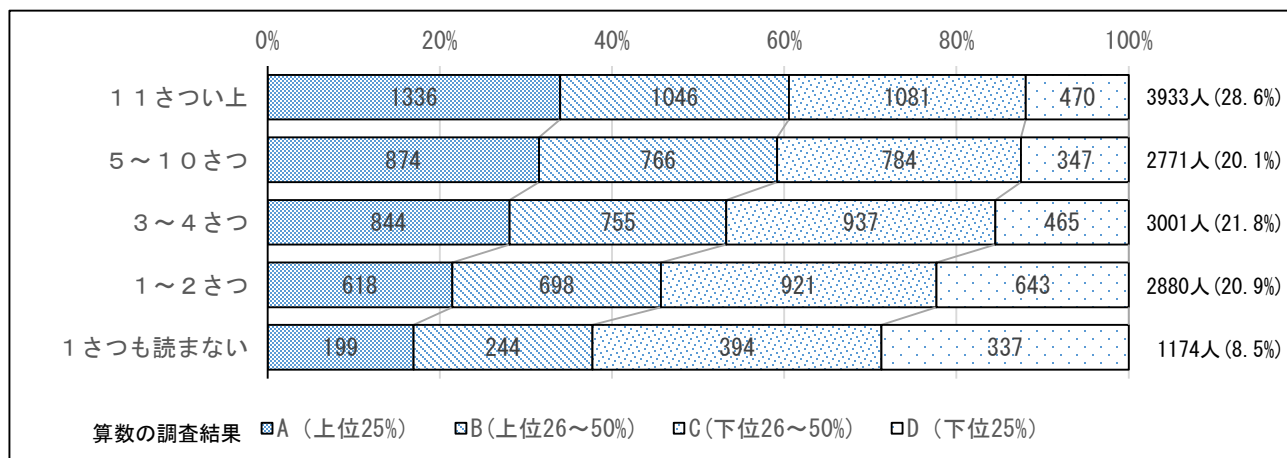
【中学校2年生】



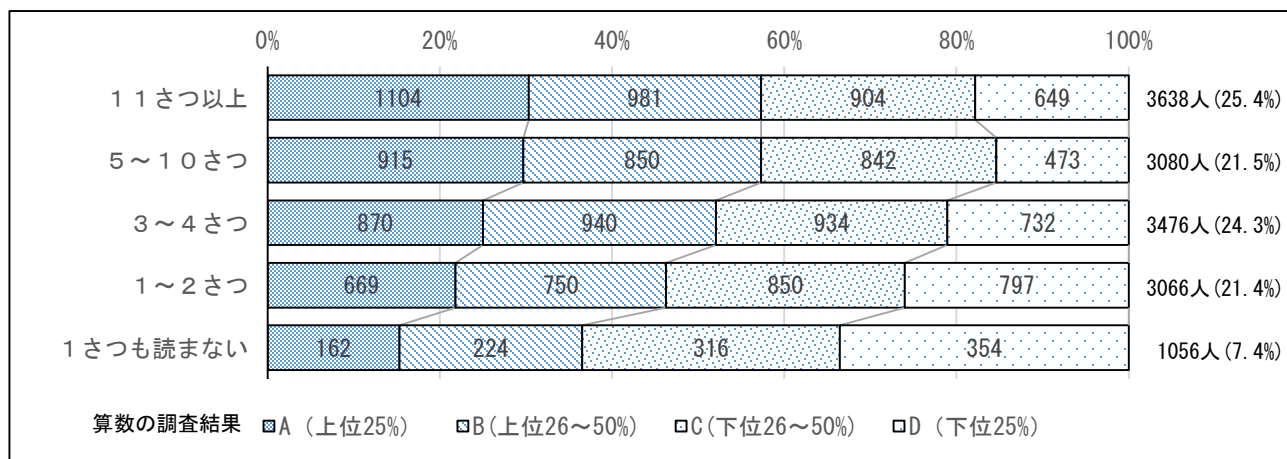
4 (2) 「読書」と「算数・数学」の傾向

質問紙調査『1か月に、何冊くらいの本を読みますか（教科書や参考書、まん画や雑誌は除きます）』と算数・数学の調査結果から見える傾向

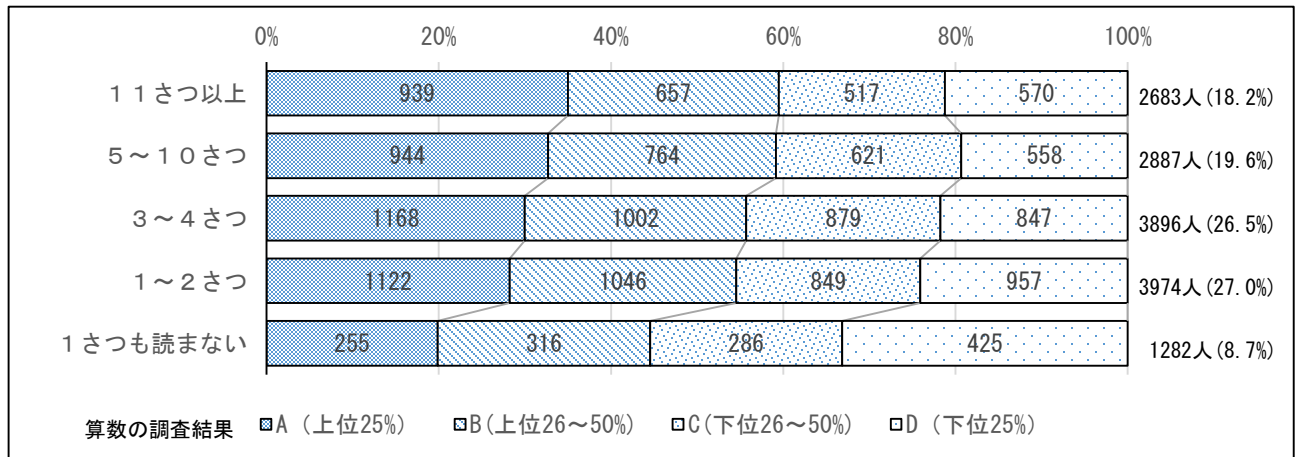
【小学校4年生】



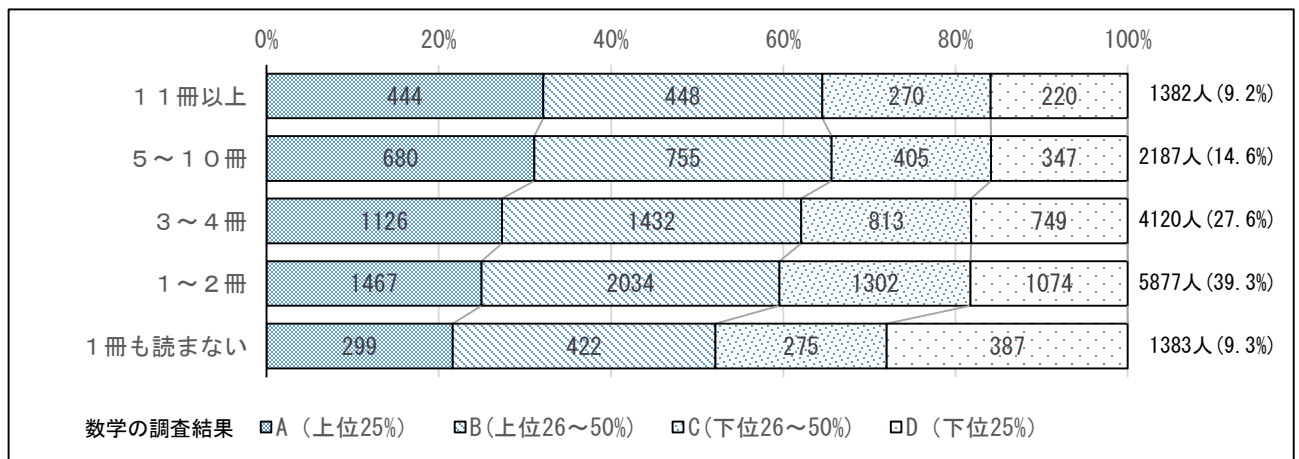
【小学校5年生】



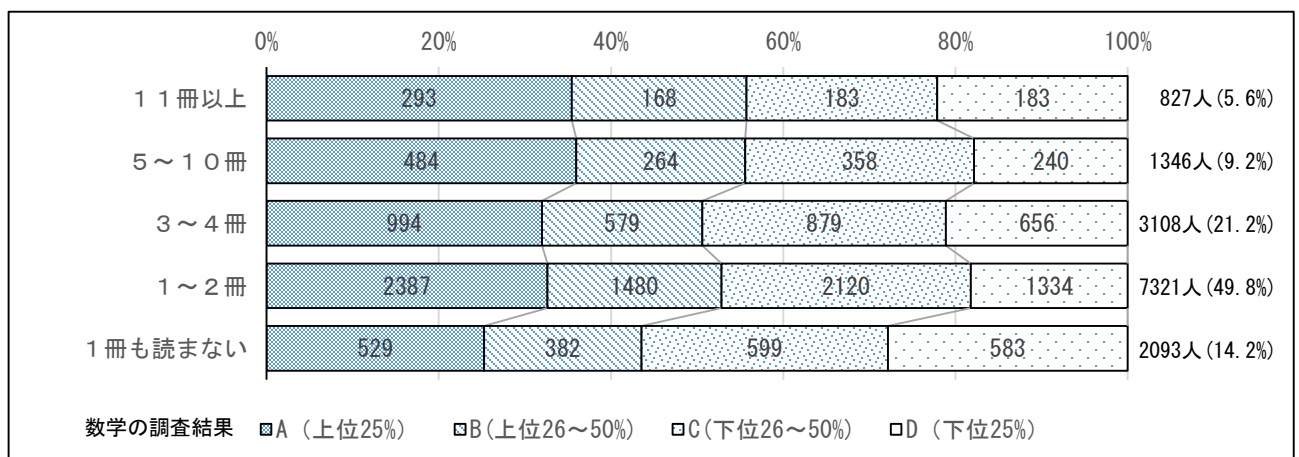
【小学校6年生】



【中学校1年生】



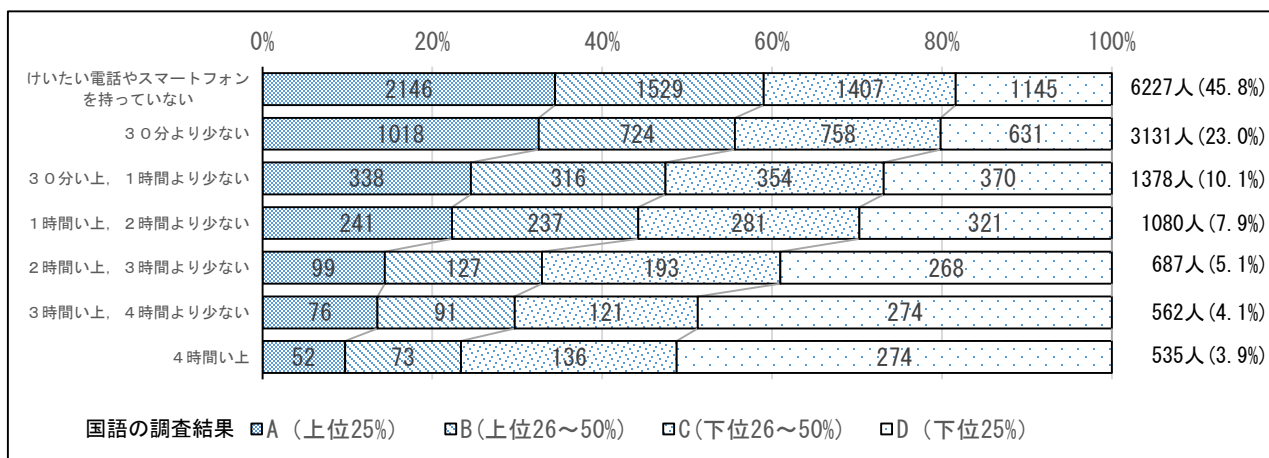
【中学校2年生】



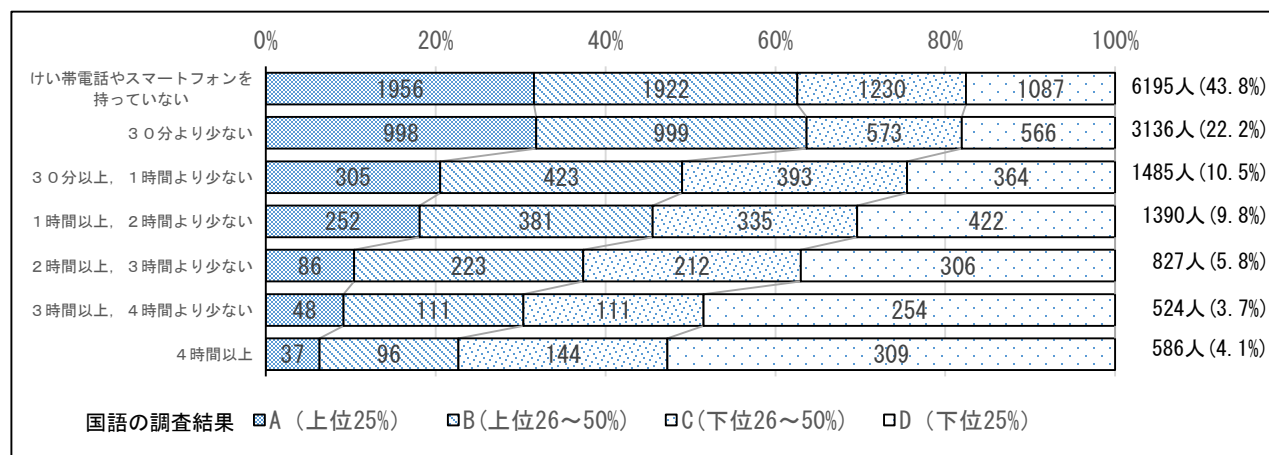
5 (1) 「家庭での生活習慣」と「国語」の傾向

質問紙調査『普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除きます）』と国語の調査結果から見える傾向

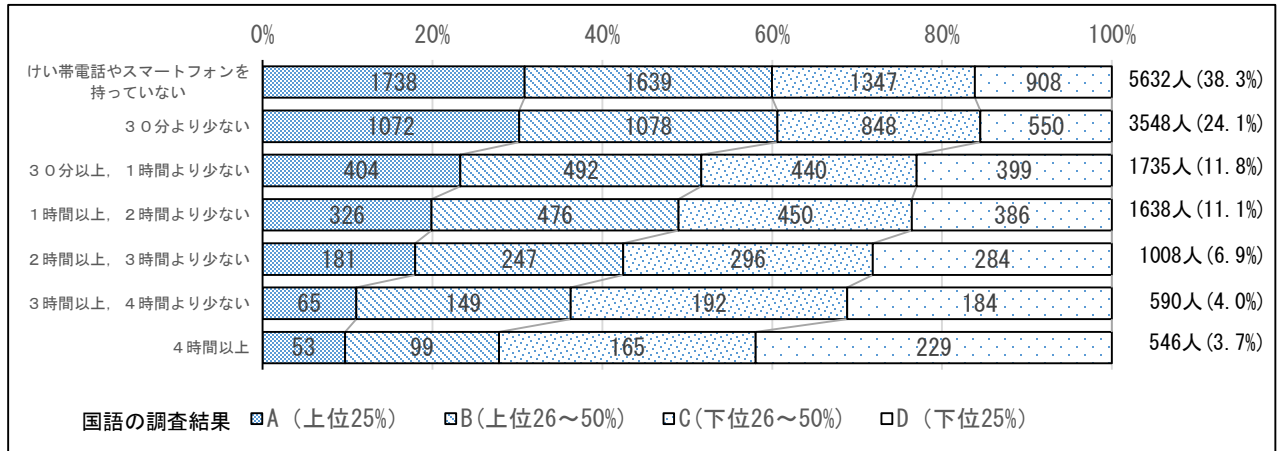
【小学校4年生】



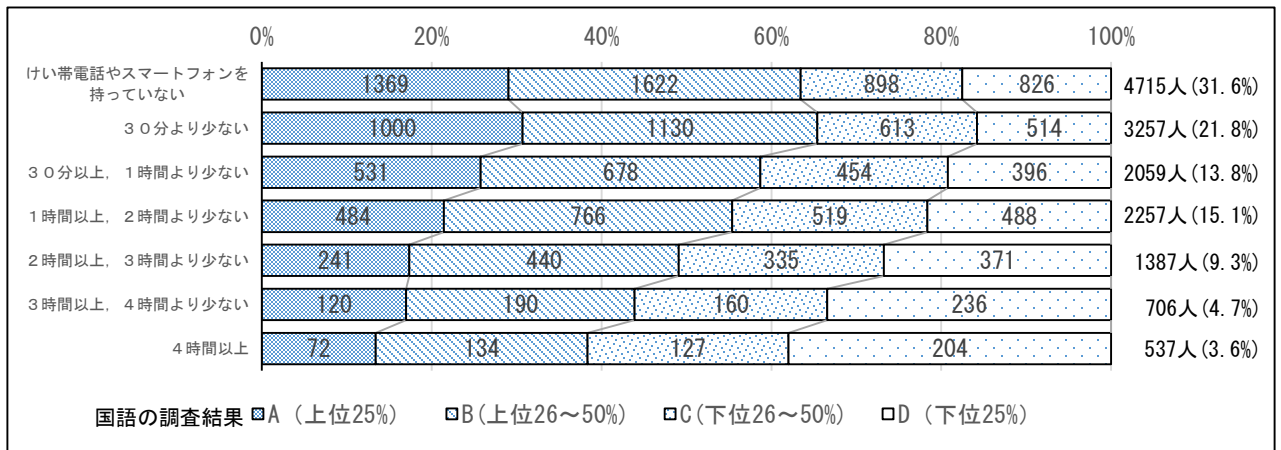
【小学校5年生】



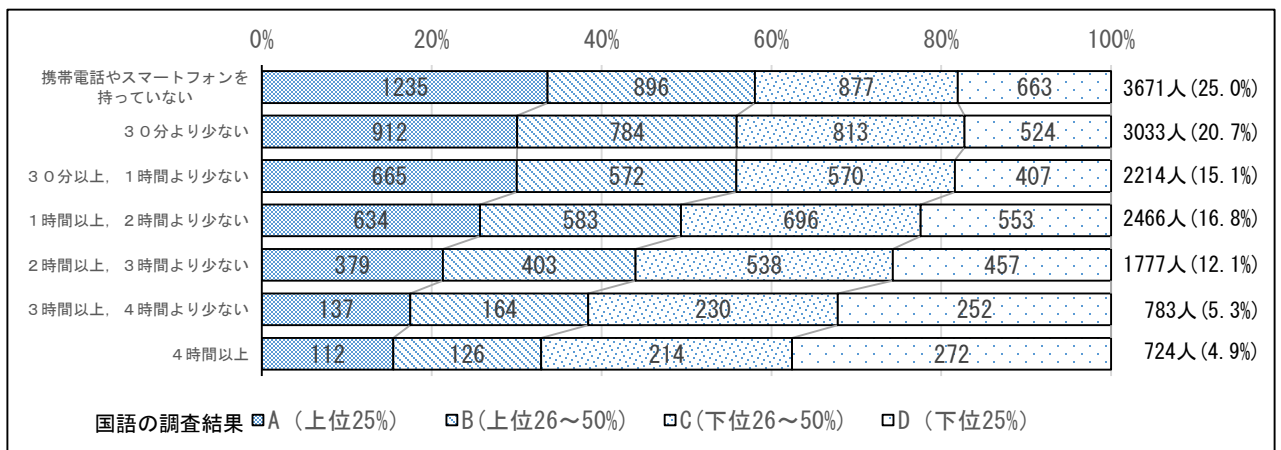
【小学校6年生】



【中学校1年生】



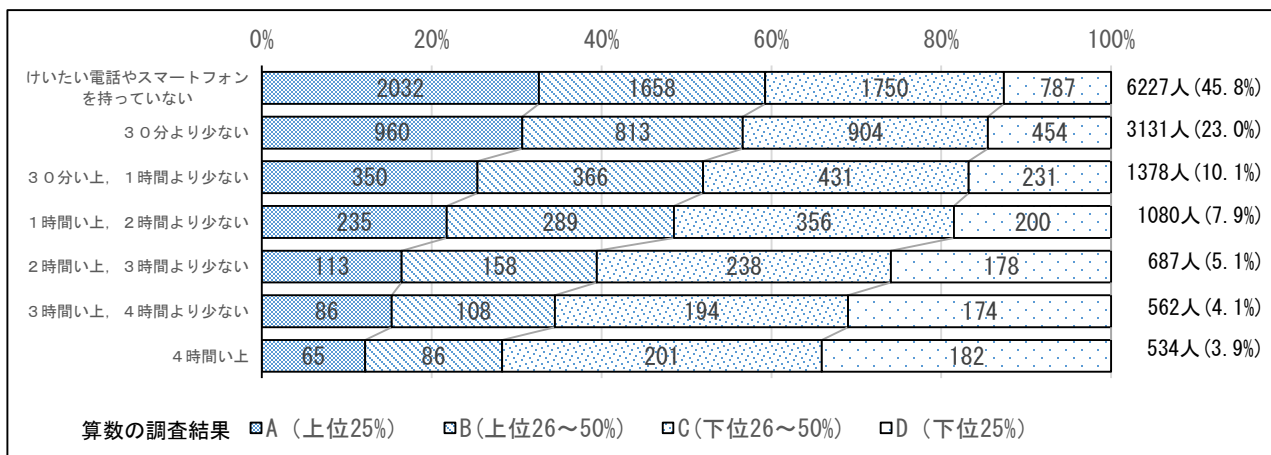
【中学校2年生】



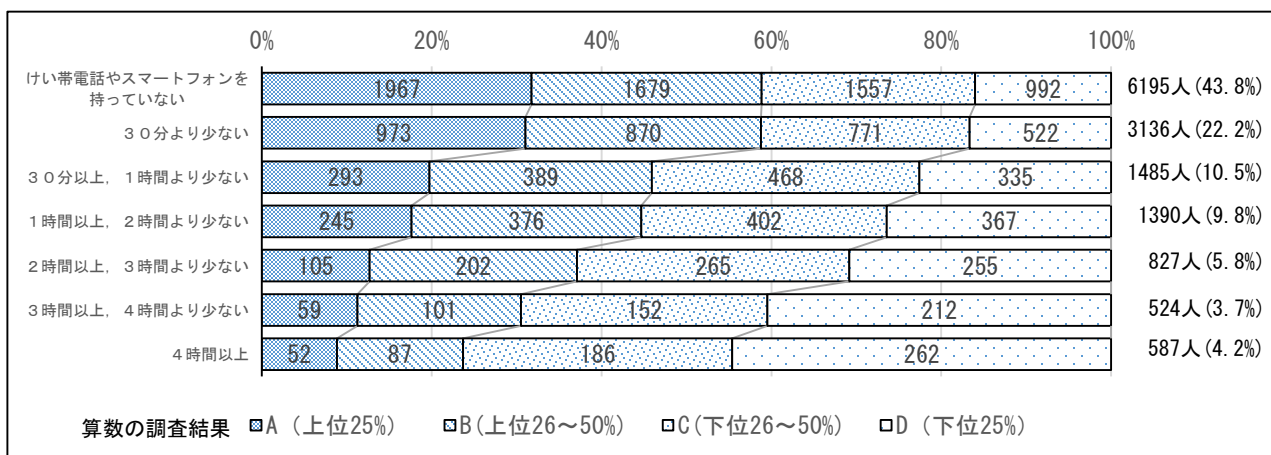
5 (2) 「家庭での生活習慣」と「算数・数学」の傾向

質問紙調査『普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除きます）』と算数・数学の調査結果から見える傾向

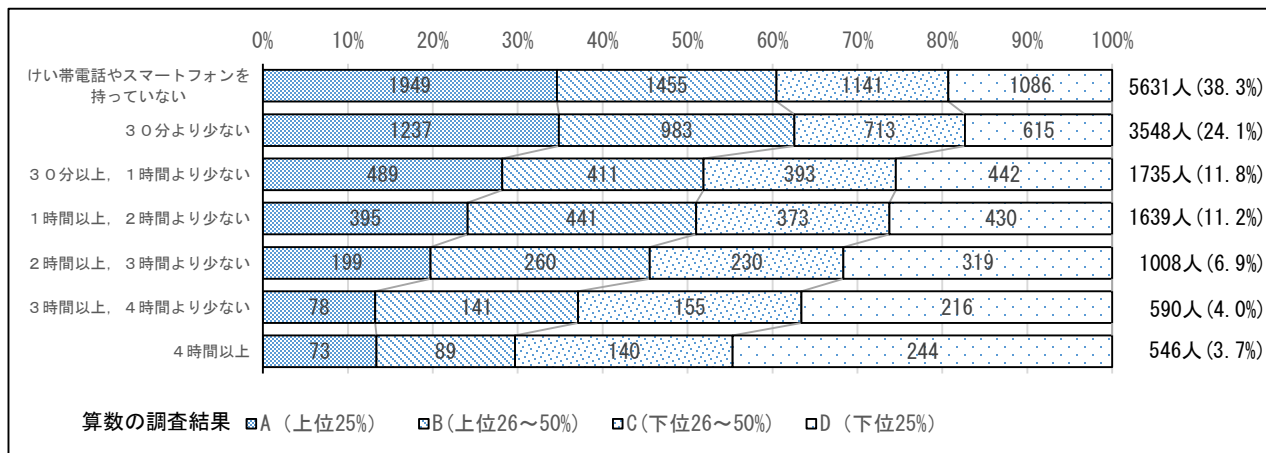
【小学校4年生】



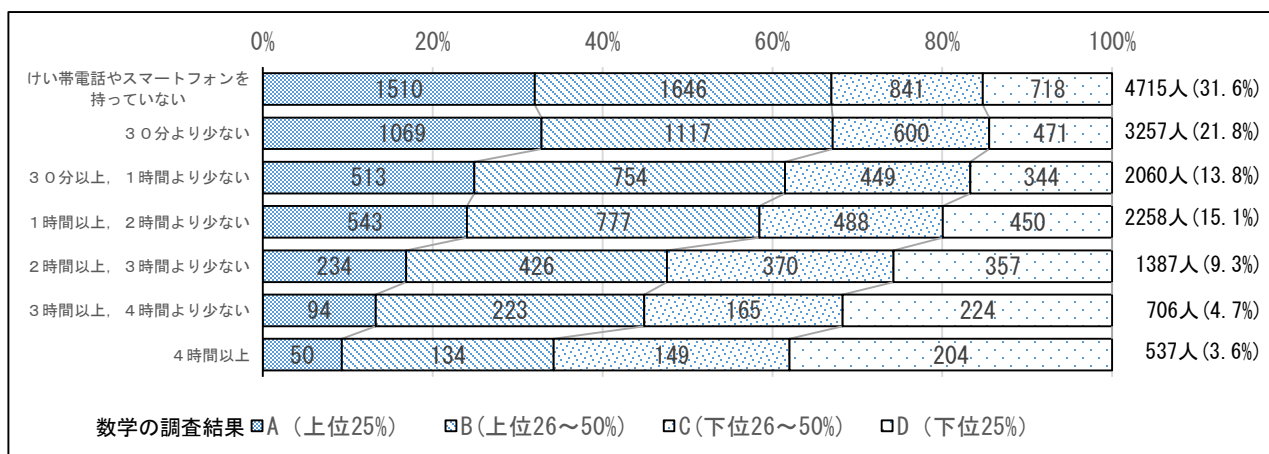
【小学校5年生】



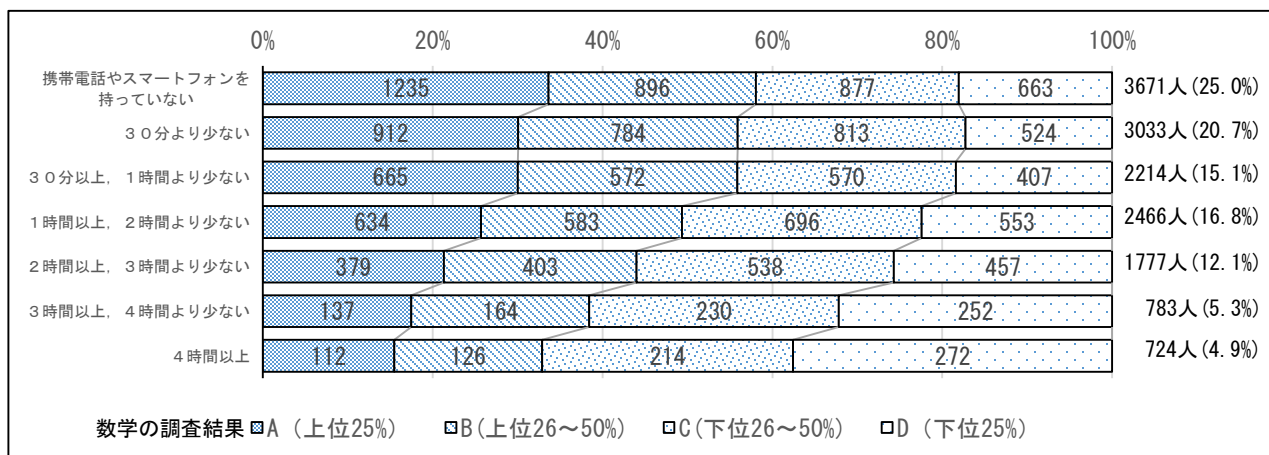
【小学校6年生】



【中学校1年生】



【中学校2年生】



1 国語科

①育成すべき資質・能力の明確化

教科書に載っている作品を教え込むという考えから、教科書に載っている作品を通して（手段として）、どのような資質・能力を育成していくのかという視点をもち合わせて授業を展開していきましょう。その際に参考になるのは、学習指導要領の指導事項です。授業に位置付ける指導事項を明確にしていくことが大切です。

②言語活動の質の向上

言語活動というと、真っ先に思い浮かぶものは話し合い活動になるかと思います。授業の中に話し合い活動を手段として取り入れることは構いませんが、授業の中で設定されている発問が、話し合い活動に耐えうる発問かどうか点検しましょう。児童生徒の話し合い活動に必然性を生み、試行錯誤する状況の中で児童生徒の主体性を引き出す言語活動にしていくことが大切です。

③学習評価の具体化

学習評価とは、評定を付けるためだけに行うものではありません。先生方が育成したいと考えた資質・能力が、児童生徒に定着しているかどうかを確認する非常に重要な場面となります。その地道な繰り返しが、児童生徒一人一人の成長を支え、一人一人の学力の伸びを保障していくことにつながるはずです。

2 算数・数学科

①課題設定の工夫

疑問がそのままでは児童生徒にとっての解決すべき課題にはなりません。それまでの生活経験や既習事項を基に、予想や見通しをもたせながら引き出した問いや思い・願いをつないで焦点化し、課題を設定しましょう。

②発問の工夫及び話し合いのコーディネート

授業の中で、「どのような記述を児童生徒に求めているのか」（事実、方法、理由）「何をどこまで書かせるのか」（記述内容）を明確化することで、児童生徒の言葉を聞き取って、発問を工夫したり、話し合いをコーディネートしたりすることができます。発問の工夫や話し合いのコーディネート（切り返しやつなぎ等）により、児童生徒の表現が次第に洗練され、ねらいに即した資質・能力を育むことができます。

③適用と振り返り

一旦全体で確認しながら解決された問題を基に、数値や条件を変えた問題を児童生徒が自力解決することで、解決の過程を振り返りながら確かめることができる場を設定しましょう。振り返りながら適用することで、より確かな理解につながったり、新たな問いが生まれたりし、深い学びとなることが期待できます。

調査に関するQ & A

【Q1】

「学力のレベル」とは何ですか。

【A1】

ふくしま学力調査では、様々な難易度の問題を出題し、それに対する正答や誤答の状況を見て、「学力のレベル」を判断しています。そのため、全ての問題に難易度を設定しています。

【Q2】

問題の難易度は、どのように設定しているのですか。

【A2】

例えば、計算問題では、次の例のように難易度を設定しています。

【例】計算問題（割り算）

問題の難易度	問題例
6	$0.7 \div \frac{2}{3}$
4	$5.6 \div 1.4$
3	$52 \div 4$

割り算に分数も入るため、難易度がさらに上がって、「6」となる。

割り算に小数が入るため、難易度が「4」に上がる。

整数同士の割り算である。本調査では難易度を「3」と設定している。

【Q3】

「学力のレベル」は、どのくらい設定されているのですか。

【A3】

学力のレベルはレベル1からレベル12まであります。各学年の測定は、次の表のように7レベルの間で行います。また、それぞれのレベルはさらに細かく3層（高い順にA⇒B⇒C）に分かれています。児童生徒には、学力のレベルはこの小さな層で分けた1-Cから12-Aまでの36段階で提示されます。

なお、福島県の中学3年生は調査を実施していません。

学年	学力のレベル	学年	学力のレベル
小学校4年生	レベル1～レベル7	中学校1年生	レベル4～レベル10
小学校5年生	レベル2～レベル8	中学校2年生	レベル5～レベル11
小学校6年生	レベル3～レベル9	中学校3年生	レベル6～レベル12